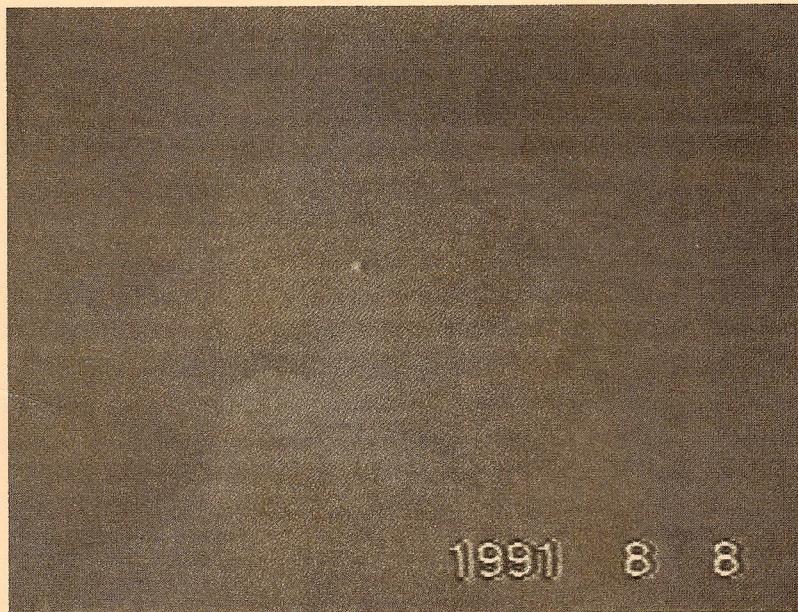


日本GAP横浜支部報

# ONENESS



1991 8 8

No.4

# ONENESS No.4

★超能力の経路は2方向に働く	石野 創太	1
★調和のとれた活動のために	杉山 俊樹	2
★空はなぜ青いのか	本山 恒明	6
★スペース・ピープルが語る核実験	吉野 次郎	8
★生命の科学座談会		10
★ロサンゼルスのUFO	植木 淳一	16
★ミラクルワード・パート2 私の過去とそれから	佐藤 彰	18
★意識の声	久保田八郎	25
★編集後記		27

表紙はロサンゼルスリトル東京のUFO  
撮影者 大木 民夫氏

# 超能力の経路は 2方向に働く

石野 創太

リン・ピクネットの「超能力現象の辞典」(青土社、1994年発行)によれば、電気に対し特に敏感な人がいるということです。この人達は電気器具や電球のそばによつただけでアレルギーを起こしたり頭痛を訴えたりします。興味深いのは、この人達は同時に、電気器具に影響を与えたり、手に持つだけで電球をつけてしまう能力にも恵まれているということです。

また、アレルギー体质の人間が超能力者であることが多いということもわかつています。これはどういうことなのでしょうか? アレルギー体质というのは、特定の刺激に対する反応が発現しやすい体質のことです。そして超能力者というのは何か特定の刺激によって超能力が発現しやすい人のことではないでしょうか? こう考えるとこの2つは同じものなのではないかという発想が出てきます。

おそらくは、本人の思念傾向が科学的体質を決定し、これが特定の物質に対する過敏さを形成するとともに、超能力体质(どのような超能力が、どのような刺激によって発現されやすいか)をも形成するのではないかという。重要なのは、思念傾向が、本人がどの物質に対して過敏になるか、どの刺激によってどの超能力が発現しやすくなるかを決定するといふことです。

アダムスキーは、ある人がテレパシーを受信する際、本人の基本的な波動(習慣的な想念)に一致する波動は感受しや

すいが、それ以外の波動は素通りしがちだと言っています。これはバイオリンの調弦と同じです。ある周波数に調弦されていればその音がやつてきたとき直ちに弦は振動しますが、それ以外の音に對しては共鳴しません。そして人間という楽器の場合は、本人の習慣的な想念によつて調弦されます。ですからこれに一致する波動は感受しやすくなります。しかし、一致しない波動は素通りします。

ここでまた、さきほどの電気に敏感な超能力者の話に戻りましょう。電気に敏感な人々は、電気製品に影響を与えることもできます。これはなぜでしょう? これらはなぜでしようか? 感覚によって肉体が電気の波動に敏感な状態に調弦されている人だと考えられます。本人の調弦状態が電気的波動を感受しやすいものならば、それはまた電気的波動を発しやすいものだろうということが考えられます(一定の周波数に調弦された弦は、その周波数に共鳴することも、その周波数を出すこともできるのと同じです)。だからこの人達は電気製品に影響を与えたりさわつただけで電球をともしたりできるのです。

このように、本人の思念傾向によつて調弦状態が決まり、それは受信の経路になるとともに、発信の経路にもなるのです。現在の状況に関わりなく、信念によつて安心と希望の強烈な想念を持ち、自分の感受性と影響力の両方を安心と希望の方向に設定すべきです。なぜなら、状況とは想念の結果だからです。



間を流れている心配の波動に敏感になり、同じ状況の中においても心配を感じさせる方向に設定すべきです。それと同時に、空間にも心配の波動を放ちますので、他人にそのような影響を与えるだけでなく、心配になるような状況を発生させ、引き寄せます。したがって、強烈な信念によって自分の思念傾向を安心の思念傾向に変える必要があります。そうすれば、安心の波動に敏感になり、安心をもたらすような物事を発生させるからです。

# 調和のとれた活動のために

杉山 敏樹

## 「新しい習慣を生み出すために

### 利用する呼吸

空気を呼吸する肺の筋肉は随意筋と不随意筋から成っています。随意筋は、頭在意識によって支配され、不随意筋は潜在意識によつて支配されます。つまり、肺は頭在意識と潜在意識の両方に通じる特殊な臓器なのです。

腹式呼吸やその他の特殊な呼吸法をトレーニングした経験のある人ならわかると思うのですが、意識して新しい呼吸のリズムを作り出すということを何日もつけておりますと、いつのまにか無意識のうちに新しいリズムで呼吸し始めていります。つまり、頭在意識で行つていったコントロールが潜在意識の手に渡つたわけです。

## 【創造活動を助ける呼吸】

呼吸のリズムを意識して作り出していくとき、頭在意識（心）は潜在意識への

通路を開こうとしているわけですから、この時に自分が実現したいことを一緒に念じてみると以外にもうまくプログラミングできるようです。塩谷式調息法にもこの原理がうまく取り入れられていると思ひます。

すぐに効果が現れる例として、心と体をリラックスさせる方法があります。たとえば、仕事がうまくはからず気になつていることがたくさんあり、イライラしているときに目を閉じて「落ちつく、落ちつく、体が楽になる」ということばを繰り返しながらゆっくり呼吸していくと、視野が突然ぱッと明るくなり瞬間に心の状態が変わってしまうことがあります。

呼 即ち 書く、話す、描く、観ずる、動く、排泄

という対応が成り立ちます。

これらの各機能の組み合わせによつて創造活動が成り立つてゐるわけですが、面白いことに、肺の呼吸によつて各機能が活性化されるようです。実際に、私はこれを無意識に行つてゐる場合があります。例えば、目に映るものや聞こえる音を知覚したり、物を持ち上げるために力を込む時に「吸」が過剰になつて力強い線を描くためには呼のタイミングで手を動かすのが効果的です。

私は仕事柄同じ姿勢で座つてゐる時間が長く、昨年の冬に腰を痛めたことがありました。このとき、スポーツドクター

すという現象は呼吸のほんの一面向に過ぎません。万物の存在そのものが呼吸現象といえるのですが、ここでは人体について述べてみます。

人間は何かを取り入れて、それを加工して吐き出す一種の変成器にたとえることができます。そこで、「吸」にInput、「呼」にOutputという意味を与えますと

吸 即ち 読む、聞く、見る、感じる、触れる、採取

一、息を吐いているときには、表現する効率が上がる。

例えば、スケッチを描くときは、息を吐いているときの方がイメージを紙面に投影しやすくなります。落ちついで手を動かすのが効果的です。

また後には「呼」が過剰になつてしまいます。つまり、次のようになります。

一、息を吸つているときには、取り込む効率が上がる。

例えば、実際に何かを見たり聴いて、いる時に息を吸つてみるとそれらが自分に迫つてくるように感じ、感覚が敏感になります。また、何かを思いだそ

うとするときに、吸のタイミングでペ

ットとイメージが浮かんでくることがよ

くあります。

二、息を吐いているときには、表現する効率が上がる。

例えば、スケッチを描くときは、息を吐いているときの方がイメージを紙面に投影しやすくなります。落ちついで力強い線を描くためには呼のタイミ

の指導を受け、ありふれた指導があるのかなと思っていたのですが、意外にも運動の中に呼吸を取り入れることが非常に大切な要素だと言わされました。

腰痛治療に必要なストレッチ体操は次

の大切な要素だと言わされました。

腰痛治療に必要なストレッチ体操は次の要領で指導を受けました。「動作開始前に鼻から息を吸い、体全体に意識を巡らせ、動作が始まつたら同時に口からゆつくり息を吐きなさい。」

医学的には息を吸うときには交感神経が活性化され感覚器官は敏感になり、吐くときには交感神経は抑制され筋肉は弛緩状態になることがわかっているそうです。

特に息を鼻から吸うとき、鼻の粘膜から吸収された酸素が直接脳に供給されるから知覚はさらに敏感になります。この緊張と弛緩を2分の休憩時間を入れ、3回

自律神経を意識的にコントロールできる理由は肺の筋肉が随意筋と不随意筋の両方を兼ねているためであり、様々な技法で受け継がれている古代の知恵の中で、呼吸が重要視されている理由がここにあります。

## [Input & Output のバランスを取る]

- ①テーマを決める
- ②行動を通じて感覚器官から知識を得る
- ③思考して知識を統合する
- ④統合した結果を行動で表現する

知力は「吸」に属し、集中力は「呼」に属します。

本来知る行為は、創ることの補助としてあります。抽象的にいいますと、人間は知識・物を変成する変圧器です。入力から出力へのプロセスが常にバランスするように調整されているとき、眠っていた

能力が活動し始めます。例えば、あるテーマの下に取り入れた知識を統合して論文を書いたり、物を作るという行為は、理解と記憶を深め、安心感を生み出します。イメージ力を育てるには、紙に描く習慣を持つことです。

逆にこのプロセスが滞った時、神経系は混乱し病んでしまいます。例えば、気分本位に知識を大量に取り入れると、知識と経験との間に大きなギャップが生じ、心に焦りと不安を感じます。

いかなる能力訓練も吸い込んだものを統合し、吐き出すことを繰り返して上達します。呼吸はその象徴です。感じたことや、自身が椎間板ヘルニアで苦しめたことがあるため説得力のある効果的な指導を受けることができました。

くらい練り返すと筋肉は効果的に強くなり、筋は実際に伸びるのだそうです。

スポーツドクターご自身が椎間板ヘルニアで苦しめたことがあるため説得力のある効果的な指導を受けることができました。

私は、一年間の計画を立てる際に、実現したいことを箇条書きにして記録していますが、あとからよりかえってみると、6ヶ月くらいでほぼ達成されていることに気づきます。

のを書き、見たものを描くという情報の経路を作ることにより理解し、経験の記憶として刻れます。教育に携わることによって一つの学びのプロセスが完了する理由はここにあるのです。

創造プロセスの流れを簡単に表現してみると

例え、ある実験を行う際に必要な特殊な物質を入手しなければならないとき、たまたま通りすがりの道に不法投棄してあるゴミの中から発見したことがあります。



した。通常ならば不法投棄されたゴミを見て、心ない人に対しても困惑の念を持つだけですが、潜在意識はこの中に必要な物があることを「好奇心」という形で知らせてくれました。

本来ならば「いかなるイメージでも描くことには責任がともなう」ことをいつも自覚していなければならぬと思いません。しかし、イメージが現実になるまでに長い期間がかかるので、実現してしまったときにはイメージを描いてしまったことを忘れてしまっている場合が多いのです。

潜在意識の活動は、自分が気づかないうちにいつのまにかイメージ通りの状況を作り出します。

マーフィーの名言によりますと自分の

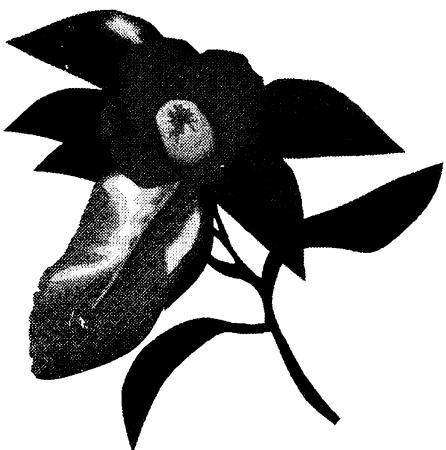
将来を心配すれば、そのイメージはやがて自分の環境に現れてしまうと言われています。

だからたとえ、自分がどんなイヤな場面に出会ったとしても、それは過去において自分が少なくとも一度は強く想つたことがあるイメージの断片であるのです。

私は以前、大学入学試験の日に病気で寝込んでしまつたらどうしようという心配をしたことがあります。そして受験の日になつて突然高熱を発してしまつたのです。それでも受験しましたが、最悪のコンディションで答案を書かなければならなかつたことを憶えております。

このような例に代表されるように「これは自分が望んだことではない」と思つたとしてもそのようになつてしまふイメージを不安感と共に過去に描いていた可能性は十分にあります。「恐れていることが起る」という意味はここにあるわけです。心配していることが起つてしまふから、自己防衛本能に従つて自ら想念の力を封じ込めてしまつたという人間の失敗があり、それを正当化する社会が構築されてきたようにも思えます。

エイズウイルスの潜伏期間が長く、因果関係がしばらく不明であつたようにい



イメージと現実との間に長い潜伏期間があるために因果関係があることが全ての人々に認識されるに到つていません。

最近、子どもの自殺は、ウィルスによって伝染するということがアメリカのテレビ番組で報道されました。このウィルスというのは、マスメディアを通じて流される自殺事件のニュース情報なのです。テレビを通じて伝達されたイメージが人々をやつしていくのか?と父に尋ねたら、「自分のチームのところにボールを落とさないようにするゲームだよ」といました。しばらくゲームを見ていたらチームの選手がボールを取り損ねました。そこで、「なぜボールを落としたの?」と尋ねると、「相手のチームの所にボールを落とした」と、相手のチームの所にはボールを落とそうとしているのに自分の所にはボールを落とされたくないという矛盾することを大人がやりあつているとい

に戦争が続いてきたのだと思ひます。このことは身近な生活のなかから芽生えることだと思います。例えば、自分の子は可愛いが他人の子は可愛くないという相反する心の状態があつたとします。このことが親を過剰な教育競争へ駆り立てて子どもを至ませるかもしれません。我々地球人にとっては難しいことです、「自分の子」と「他人の子」というように分けててしまい、無意識のうちに敵と味方をつくつてしまふことが社会の混亂を招いているように思えて仕方がありません。

私がまだ5歳の時に、テレビで初めてバレーボールの試合を見たとき、まず一人がわからないので、「テレビの人は何をやつしているの?」と父に尋ねたら、「自分のチームのところにボールを落とさないようにするゲームだよ」といました。めはばやけたイメージであつても、何度も繰り返し描き続けることによつて極めて精密な質感が得られるようになります。安易に紙と鉛筆を使うことを避け、全てのプロセスをイメージの中で実行するよう心がけています。紙に描くのは最後の段階です。何年も努力すれば努力しただけの成果が出ました。

目的を明確にすることとイメージを保ち続けるということはイコールです。

これは一つの参考にしてほしいのですが、イメージ力は実際に手足と同じになります。つまり、想つただけで遠方の物品を引き寄せたり、目の前の装置類を作動させたり、へたをする狂わしてしまつたりします。

うことにショックを感じたのです。この矛盾感は今でも私の心から離れません。

## 【想念の力】

蛇足になりますが、イメージの意味について以下に少し綴つてみましよう。

イメージの世界は、単なる空想のためにあるのではありません。訓練することによつて自分の手足と同じくらいの働きをするようになります。私の関心は自然科学にありますので、イメージの実験室を用意し、そこに、定規とコンパスと、様々な材料、測定機器、工作機械類、その他もろもろの道具を描きました。はじめはばやけたイメージであつても、何度

私の友人の1人は想念だけで金属を自在に切断したり溶接するという芸当をやつてのけます。このような芸当そのものは特殊な例ですが、通常人と比べて想念の密度が違うだけです。それはイメージの臨場感の強さに比例します。「想い」というものが間接的ではなく直接この宇宙に作用していることを信念とすればイメージの作用は強くなるようです。

想念を自在に駆使する人は、過去において恐怖をぬぐい去る試練を経ている場合が多く、その後は幼子のように天真爛漫な氣根を發揮するようになるようです。私が好きな」とばを紹介しておきましょう。

Imagination is more important than knowledge.  
Albert Einstein

想像する」とは知識よりも大切である。

Albert Einstein



## 【感覚器官の使い方】

人間に与えられた感覚器官は、評論家のためにあるためにあるのではなく、創るためにフィードバック機構として正しい機能を発揮するようにできています。

仮に、知ることが主体となり評論家になつてしまふと、単に「好き」「嫌い」のレベルで行動してしまふようになります。これは自分が環境に支配される姿です。もつと悪いことに、ある対象物（例えばバラ）に対して、「匂いはいいが」「硬い」とげがあつて痛い」という場合、「好き」と「嫌い」が共存してしまいます。これは心に葛藤を生じる要素になります。このように各感覚器官が協調性を失つような使われ方をするのは誤っています。感覚器官が協調するようになるためには2つのポイントがあります。

## 一、原因の世界から変えてゆく恒久対策

さきほど、想念を管理することについて述べましたが、2つの相反することをいの中に共存させたら、いつかは潜在意識が現象化してしまいます。ですから根本的な解決のためには、敵と味方をつくりだすような矛盾した想念を持たないことが大切です。でもこれは地球の文化を根底から変えるほどの問題ですから大変に困難な取り組みだと思います。

特殊な例で、スコットランドの浜辺にあるフィンドホーン共同体では、人間と植物とのコミュニケーションを通じて多くの奇跡が実現しています。例

えば、トゲのあるバラに向かつて「おまえを傷つける者はどこにも居ないのだから、もう鋭いトゲはつけなくもいいのだよ」と語り続けることによつて、本当にトゲのないバラが生まれています。この例は、感覚器官が分裂を起してしまつたような現実が人間の矛盾した想念によって作られているといふことを示唆しています。

以上、呼吸、想念、感覚器官をキーワードとして調和活動の一考察を試みてみました。書き終えてみて自分で説明していく箇所がいくつもあり、理解不足を痛切に感じます。得た結論を口で言うのは簡単ですが、本当に理解するには、おびただしい経験の積み重ね以外に道はないと思います。

## 【まとめ】

利用すべきではないと言つた意味がここにあると思います。神への奉仕とはまさに創造活動のことです。



# 空はなぜ青いのか

本山 恒明

この内容は、以前、山形支部報に「宇宙の共通点」と題して載せていただいた訂正文です。以前の内容について、進歩した方から訂正とアドバイスを頂いたのに長い間訂正記事を公開することなく、今日まで延び延びになり申し訳ありませんでした。この記事で、一人でも多くの方達が「アダムスキーハー氏の体験や別な惑星に偉大な人類が暮らしていることに確信が持てる」お手伝いができれば幸いに存じます。

## 【紫色の電離層】

さて、以前の記事のことから始めさせていただきますと、銀河系の中心核からは太陽の質量の何千倍、何万倍もの莫大なガスが常時ジェット噴射のように放出されており、このガスの中から次々と新しい星が誕生し、崩壊して行きます。そ

の課程で、あらゆる元素が創造され、太陽や惑星などが新たに形成されるわけです。早い話、私たちの身体を構成する元素やその他、何から今まですべての物質やエネルギーも含めてこの銀河の中心核から放出されるガスに源があるのです。

そして、進歩した方が、すべて太陽系はこの銀河の中を出入りしており、アダムスキーハー氏が宇宙活動の周期は二万六千年と語ったのは、この銀河のガスの中を出入りする周期のことをいつているのですと教えてくださいました。

しかも、この電気を帯びたプラズマならば、アダムスキーハー氏が語っているアステロイド帯による加速説も可能になりました。

しかし、この電気を帯びたプラズマいうに、伊藤睦史氏が地球の空が青いのは、太陽からのプラズマ粒子が地球の大気と衝突して青く見えるのであって、太陽光によるスペクトル作用ではないと教えてくださいました。

さらに進歩した方が、その考え方はだいたい合っていますと語り、どうして各惑星が太陽風からエネルギーを受け取ることができるのか、私にわかりやすく説明してくださいました。

## 【太陽風は宇宙線になる】

アダムスキーハー氏が宇宙の原理は単純なもので、以前の記事のことから始めさせていただきますと、銀河系の中心核からは太陽の質量の何千倍、何万倍もの莫大なガスが常時ジェット噴射のように放出されています。この太陽風の成分は陽子、ヘリユウムの原子核、電子等からなるプラズマガスで、各惑星の公転軌道面に円盤状に放出されており、地球付近では秒速八百キロという超スピードでもって吹き抜けています。

アダムスキーハー氏が宇宙の原理は単純な

ものですと語っていることから、銀河系の中心核から放出されるガスや、太陽風は同じようなものではないかと思い、各惑星にエネルギーを与えるのはこの太陽風で、太陽が出す光、その他の電磁波はプラズマガスを作り出すときにできる、副産物のようなものではないだろうかと考えました。

しかも、この電気を帯びたプラズマならば、アダムスキーハー氏が語っているアステロイド帯による加速説も可能になりました。この考えを裏付けてくださるかのように、伊藤睦史氏が地球の空が青いのは、太陽からのプラズマ粒子が地球の大気と衝突して青く見えるのであって、太陽光によるスペクトル作用ではないと教えてくださいました。

そして、昔アメリカの火星探査機バイキングが、火星の風景を写したとき、火星の空が青く写つており、これを見た科学者が、これは火星に酸素や窒素等の重い元素の大気が大量に存在する証拠だと語り、この発言に慌てたNASAが赤いフィルターをかけて火星の空をピンク色に変えてしまったことは有名な話です。

さらに、ジエームズ・チャーチワードがムー大陸の宇宙科学者の中で、太陽から

それによりますと、太陽風は惑星の大気圈上層部に突入し、大気圈上層部の酸素や窒素の元素と衝突し、酸素や窒素の元素をイオン化し、紫色に発光させ、電離層を形成します。この電離層で紫色に発光した光が大気中を通過するとき波長が長くなり、低地から大気層を通して電離層をみると青くなつて見えるのです。あとはアダムスキーハー氏が語っているように地表付近まで光が達すると赤っぽい光にまで波長が長くなり、この赤っぽい光が地上の物質や人体に当たると物質の分子が振動し、分子の振動によつて赤外線が発生して、地上の物体が熱くなるのです。たぶん電子レンジ等のマイクロ波効果の一端なのでしょう。

また私は以前、成層圏を飛行中の機内窓から、電離層をみたとき、やはり紫色になつて見えました。

そして、昔アメリカの火星探査機バイキングが、火星の風景を写したとき、火星の空が青く写つており、これを見た科学者が、これは火星に酸素や窒素等の重い元素の大気が大量に存在する証拠だと語り、この発言に慌てたNASAが赤いフィルターをかけて火星の空をピンク色に変えてしまったことは有名な話です。

の光の矢と、地球からの光の矢が衝突し、地上に光が生まれたと語っています。太陽からの光の矢は太陽風。地球からの光の矢は地球の大気と考えれば一致します。

どうして大気がイオン化されると発光するのかについてはネオナーサインや水銀灯などの放電管の原理のようなものと思われます。そして、第一アステロイド帯、第二アステロイド帯、第三アステロイド帯によって加速され続けた太陽風は太陽系からたどり、宇宙線になるのじやないかと思いました。

この宇宙線についてですが、この宇宙

空間はどこもかしこも宇宙線だらけで、あらゆる方向からやってきて密度は一定であることがわかつています。その成分は陽子やヘリウムの原子核で太陽風と同じです。

宇宙線の成因は地球科学者間ではよくわかつておりますが、別な惑星の偉大なマスターの方が、「この大宇宙には太陽系は無数に存在しています」と語っています。ということは、この宇宙のあらゆる方向に太陽系が存在していることを意味します。あらゆる方向に存在する無数の太陽系から放出される宇宙線が宇宙空

間を一定の密度で満たすのは当然のことなのではないでしょうか。

## 【目を見張る観測衛星の進歩】

近年、琴座のベガ、画架座のβ星で原始太陽系が相次いで発見されました。そして、観測衛星の分析が進めばさらに多くの原始太陽系が発見される見通しと以前の新聞記事に載つておりました。琴座のベガまでは26光年、画架座のβ星間では50光年の距離にあり、100億光年とも200億光年とも言われる無限の大宇宙の中につづいてはお隣さんとも呼べる近さにあります。こんなに近くに多くの原始太陽系が発見されたということは、私たちの住む太陽系のような存在は決して珍しいことでも、特異なことでも、偶然に出来たのでもなく、この宇宙の中で、どこにでもごく普通に存在しているということを明らかにしています。

### 観測衛星の進歩で、超新星の爆発の後

に出来たガス星雲の中から誕生する第二世代の恒星はすべて円盤状の太陽系型になつていてることがわかつきました。つまり、オリオン星雲などで次々と新しい太陽系が生まれつつあるのです。

また、ハッブル宇宙望遠鏡が冥王星のすぐ外側にカイペールトと呼ばれる第二アステロイド帯を発見しました。発見された小惑星の数は2万個といわれ、数千個といわれる第一アステロイド帯より遙

かに数が多く、これまで彗星の巣と考へられていましたオールとの雲より百倍も近かつたそうです。これでまた一つアダムスキ氏の説が立証されました。

しかし、こうも早く新しいことが次々と発見されるついてゆく方は大変です。

この記事が公表される頃にはX星、Y星、Z星が発見されてしまった後になるかもしれません。

最後に、学歴のない私がなぜこのテーマを取り組みたくなる衝動が起つたのかよくわかりません。ただその当時は私の周りにGAPの優秀な科学者の方達がいっぱいおりまして、私が必要とする知識や情報がひとりでに与えられる環境にありました。その方達に厚くお礼を申し上げるとともに、すべてを知つていながら自分は表にせず、あえて私に訂正とアドバイスを与え、公表を譲つてくださつた進歩した偉大な方の心の大きさと優しさに深く感謝申し上げる次第です。

### 参考文献

「太陽系からの風と波」「ハレー大彗星」

桜井邦朋著 詳伝社

「降着円盤への招待」

福江純著 講談社

「ムー大陸の宇宙科学」

ジェームズ・チャーチワード著 中央アート出版

# スペースビーブルが 見る核実験

最近はオゾン層が取り返しがつかないほどに破壊されているという記事が会社内で回観されていました。例えば、南極大陸では全域を覆い尽くしてまだあまりあるほどのオゾンホールがあり、赤道上では大量の紫外線のために生物に奇形が

発生しつつあることや、日本でも北海道では大きなオゾンホールが発生していることが書かれていました。一般的にはフロンガスがオゾンと結合し別の物質に変わってしまうためにオゾンの欠乏が起ること言われていますが、ダノ・クラスペンドンというブラジルの物理学者が興味深いことを書き残しています。

清家新一氏がこれを翻訳し、大陸書房の「UFOと新エネルギー」に掲載していますので紹介しましょう。

クラスピードン氏はコンタクティーであり、1952年に木星人の訪問を受けています。

木星のプラザーは、現代の物理学の誤りと将来的な発展のための具体的な示唆、地球の未来に起こりうる可能性の中で最悪の場合の例などを教えています。

プラザーの話では当時盛んに大気中で行われていた核実験が将来地球に与える症状を述べてお

り、その中で高層の大気の破壊のことと述べています。

1. 高層大気が破壊される。
2. 年平均0・3度の気温の上昇があり、20年間で6度の気温の上昇が起る。
3. それ以後は、両極の氷が溶け始め
4. さらに15年間核実験が続けば、取り返しのつかないことになる。
5. 地上に達した核の塵は未知の元素を生み出し生態系を汚染する。
6. コバルトは貧血を予防するがそれが放射能を有するときは血球を破壊する。
7. 放射性ストロンチウムはカルシウムと結合して骨に影響する。
8. 放射性のリンは脳に凝集され運動神経の中枢に達する。
9. 放射線沃素は身体の主な腺に入つてゆく。
10. 放射性アルミニウムとマグネシウムは性腺に影響する。
11. 視床下部が崩壊し制御できない性欲と飢えに苦しむ。
12. 甲状腺の機能が損なわると副腎のバランスはくずれアドレナリンの過剰が全く分泌しない状態となる。

1, 2, 3は既に起こっていることで

大気中で散乱した核の塵はバン・アレン帯にまで達し、非常に長い時間をかけてやがて地上に落下してくるとのことです。この影響で次のことが起こります。

1. 高層大気が破壊される。

2. 年平均0・3度の気温の上昇があり、20年間で6度の気温の上昇が起る。

3. それ以後は、両極の氷が溶け始め

4. さらに15年間核実験が続けば、取り返しのつかうことになる。

5. 地上に達した核の塵は未知の元素を生み出し生態系を汚染する。

6. コバルトは貧血を予防するがそれが放射能を有するときは血球を破壊する。

7. 放射性ストロンチウムはカルシウムと結合して骨に影響する。

8. 放射性のリンは脳に凝集され運動神経の中枢に達する。

9. 放射線沃素は身体の主な腺に入つてゆく。

10. 放射性アルミニウムとマグネシウムは性腺に影響する。

11. 視床下部が崩壊し制御できない性欲と飢えに苦しむ。

12. 甲状腺の機能が損なわると副腎のバランスはくずれアドレナリンの過剰が全く分泌しない状態となる。

以上はショッキングな内容ですが、Uコーン1号の36ページにはアリス・ボマロイ女史が希望の持てるなどを述べています。

「予言はもう実現しない」

アメリカが大気圏内核実験を中止する以前の1961年あるいは1962年の

ある日のことです。当時はまだケープカナベラルと呼ばれていた現在のケープケネディー基地において、ある弾頭のテストが行われようとしていました。

10階建てのビルほどもある巨大なロケットが、核弾頭を頂上に抱いて、悠々しくそり立っています。

軍関係高官たちのほとんどが集合し、その実験の模様を目撃すべく待機を続けています。既に全員が立ち上がり、興奮して言葉を交わしています。新しい重要な実験がまもなく開始されようとしていました。

そしてカウントダウンとともに間もなくそのロケットは上昇を開始しました。完璧な打ち上げです。そのとき、突然どこからともなく、一機のUFOが出現したかと思うと、唖然として見守る多くの軍関係者たちを尻目に

に、飛行中のそのロケットから、まるでオモチャを扱うかのように、先端の核弾頭部分のみを取り外し、それをさつさと持つて飛び去ってしまったのです。

高官たちは、その様子を目の当たりにしながらも、いまだに信じられないといつた顔つきをしています。あれはいったい何だつたんだ！

まもなく誰かが口走ります。

「あんなものがやつてきたら、我々の防衛力ではとても歯が立たない」

全員がうなずきました。

この件に関して、ジョージ・アダムスキーは次のように述べています。  
「ああの爆弾が地球大気の上層部に運ばれて、そこで爆発していたら、その水素がある種の連鎖反応を起こして地球表面は巨大な炎に包まれ、人間を含むあ

らゆるもののが焼き尽くされることになつただろう。新しい生命は、もし創造されればだが、やがてその灰の中から出現せざるを得なかつたはずだ。」

クラスピードン氏を訪問したブラザーは、地球人がこのような愚考を行なうカルマをまだ精算できないことを知つていて警告したのでしようが、ケープカナベラルでの一件でこのカルマは少しは軽減されたと思います。スペース・ピープルはこの実験が行われるのを聖書の時代からずっと待ち、多くの権力者の目にはつきりと焼き付くようにセレモニー的に派手にやつてくれたのだと思ひます。

ラザーズは、これまで私たちに何度となく援助の手をさしのべてきているのです。改めて言うまでもないことですが、ケープカナベラルでの実験中に起きたこの事件が新聞などで報道されることはなく、当時も現在もその事実を知る人はほとんどいません。

なんだか胸のすくような話ですね。スペース・ピープルは地球人にわずかなりとも改悛の情があると認めていたのでしょうか。もし、そうであれば核の塵も最悪の事態が避けられる程度に除去してくれたりしてゐるのかも。



# 生命の科学 座談会



日本GAP横浜支部

この記事は平成八年七月、群馬県水上温泉における出張月例セミナーでの座談会の模様です。久保田先生の「21世紀／生命の科学」解説講義テープを聴いての感想、各自の近況などから話が展開していきます。

横浜支部では年2～3回出張月例セミナーや小旅行を開催して、会員間の交流を行っています。この日のセミナーでは場所をリラックスする温泉旅館ホテル「オーモリ」にして、真剣で和やかな話し合いを持つことができました。このような座談会から横浜支部の普段の雰囲気を感じただけれど幸いです。

井川「先生の講演ですね、いくつかあるんですけど。金星ではライオンとかね、そういう弱肉強食じやないと、ということは地球みたいに強い者が弱い者を食べるとかねそういうことがないという意味かなというふうに捉えたんですけどね。そうなるとライオンは生きていけないし、何を食べたらいいのかなど……」

井川「たとえば極端な話、生命の科学の中にもありますよね、例えば人間が人参を食べることに対してもそれを残酷だとは思わないですよね。人参は生きていますよね。だけどライオンが弱い草食動物を食べるときには残酷だと、それってやっぱり人間の勝手なのかなという気もするけど。ただ金星の場合は実際そういうことはないのかもしないなと思うんですよ。それでちょっと思い出したのが、仙人がね、急に中国に飛んじゃうんですけど、仙人が餌を食つて生きてるっていう、よく聞きますよね。これってなんか本当なのかなっていうふうに思つたりしたんですね。

井川「昔、生きてたでしょ。最近贅沢になつてますけどね。環境に動物はならぬ。肉なんか食べなくとも犬は生きられますものね。」

井川「昔、生きてたでしょ。最近贅沢になつてますけどね。環境に動物はならぬ。肉なんか食べないでも元気はつらつと氣を出しているという話を聞いたことがあるんですね。それ聞いたときにこの人仙人だなと思って、中国にはほん

うなるとライオンは生きていけないし、何を食べたらいいのかなど……」

井川「たとえば極端な話、生命の科学の中にもありますよね、例えば人間が人参を食べることに対してもそれを残酷だとは思わないですよね。人参は生きていますよね。だけどライオンが弱い草食動物を食べるときには残酷だと、それってやっぱり人間の勝手なのかなという気もするけど。ただ金星の場合は実際そういうことはないのかもしないなと思うんですよ。それでちょっと思い出したのが、仙人がね、急に中国に飛んじゃうんですけど、仙人が餌を食つて生きてるっていう、よく聞きますよね。これってなんか本当なのかなっていうふうに思つたりしたんですね。

井川「昔、生きてたでしょ。最近贅沢になつてますけどね。環境に動物はならぬ。肉なんか食べなくとも犬は生きられますものね。」

井川「昔、生きてたでしょ。最近贅沢になつてますけどね。環境に動物はならぬ。肉なんか食べないでも元気はつらつと氣を出しているという話を聞いたことがあるんですね。それ聞いたときにこの人仙人だなと思って、中国にはほん

らいってみましょうか。

井川「先生の講演ですね、いくつかあるんですけど。金星ではライオンとかね、そういう弱肉強食じやないと、ということは地球みたいに強い者が弱い者を食べるとかねそういうことがないという意味かなというふうに捉えたんですけどね。そうなるとライオンは生きていけないし、何を食べたらいいのかなど……」

井川「たとえば極端な話、生命の科学の中にもありますよね、例えば人間が人参を食べることに対してもそれを残酷だとは思わないですよね。人参は生きていますよね。だけどライオンが弱い草食動物を食べるときには残酷だと、それってやっぱり人間の勝手なのかなという気もするけど。ただ金星の場合は実際そういうことはないのかもしないなと思うんですよ。それでちょっと思い出したのが、仙人がね、急に中国に飛んじゃうんですけど、仙人が餌を食つて生きてるっていう、よく聞きますよね。これってなんか本当なのかなっていうふうに思つたりしたんですね。

井川「昔、生きてたでしょ。最近贅沢になつてますけどね。環境に動物はならぬ。肉なんか食べなくとも犬は生きられますものね。」

井川「昔、生きてたでしょ。最近贅沢になつてますけどね。環境に動物はならぬ。肉なんか食べないでも元気はつらつと氣を出しているという話を聞いたことがあるんですね。それ聞いたときにこの人仙人だなと思って、中国にはほん

とに仙人みたいな生活している人がね、いるのかなって思つたんです。ひょっとしてプラザーズの世界も非常に周波数の高い世界ですから、そういう『気』を、感じやないと思うんですけど、そういうふうな生活をあらゆる生命体が行つてゐるならば食べるという行為自身がそういうのを自然の一つの新しい機理みたいなものですね、存在してもいいのかなと思つたんですね。」

井川「だからライオンは草食動物は食べないで、逆にライオンなのに草食動物になつちやう。そうなればそこにはそういう弱い動物を食べるという行為がなくなりますからね、そうなのかもしない。その辺はちょっとよくわからないんですけど、ただそういう風に考へるとみんな草食動物になつちやつてるのかなという気もするけど。（一同笑）そういうライオンがいても不思議じやないかなという気がします。」

井川「昔、生きてたでしょ。最近贅沢になつてますけどね。環境に動物はならぬ。肉なんか食べなくとも犬は生きられますものね。」

井川「猫もそうです。ご飯に鰹節入れて食べちゃいますものね。」

山田「家に来る野良なんかパン食べます。」

（一同笑）

井川「あと僕がすごくこはいいなと思うのがあって、それはですね、この矛盾は低い性質及び高い性質の各記憶細胞によって起こります」

「ある人を深く愛しながら、しかもそれを傷つけることがあるでしょう。この人を傷つける人が、あつ、そうだなと思つて、結局自分を観察しているとですね、今いい状態だなどいう時つてやっぱりあるんですよね。だけど一方突然がぐつとほんとに自分の想念状態も悪くなつちやう。そうなればそこにはそういう弱い動物を食べるという行為がなくなりますからね、そうなのかもしない。その辺はちょっとよくわからないんですけど、ただそういう風に考へるとみんな草食動物になつちやつてるのかなという気もするけど。（一同笑）そういうライオンがいても不思議じやないかなという気がします。」

井川「あとこの中にで確か他人を傷つければ自分を傷つけたと思うんですけど、そのあととの心が優れた触媒作用をなすようになつて、その心が優れた触媒作用をなすようになつて、どういう意味かなと、触媒という訓練されてないと書いてあつたんですけど、それはその優れた触媒作用というのではなくのかなというのがすごく難しいなと思つて、どういう意味かなと、触媒というのをちょっと調べたんですけど、触媒というのはそれ自身は変化しないけど、それがほかに作用して変化が起きる。だから優れた触媒作用だから、良い方向の触媒作用かなって、だからそういうふうに訓練するにはどうしたらいいんだろう」というと難しいなど……。」

「あと家で犬飼つてゐるんですけどね、その犬がね、動物ですからねテレパシックかもしれないけど、結構テレパシックですね。やっぱりよく飼い主の考えていることを声に出さなくてわかるつていうかね、犬の方が察するつて言うかね。例えほどこか散歩にでも行こうかなとか思うとね、そわそわしててすぐわかるのがね。人間が感じていることとか、考えてることがわかるんですね。」



— それでは池田さんいかがでしようか。

池田「この間、工作舎から出でてゐる『植物の神祕生活』というだいぶ分厚い本がありましたね。あれ一ヶ月ぐらいかけて読んだんですけどね。その中でここに人の話が出てきましたね、人参、野菜でも人間が持つようなマインドを持たないと言ふことが書いてあって、その『植物の神祕生活』の中ではマインドを持つているかどうかってことは別に、例えば植物の葉っぱがある場合に例えればこれを焼いてやろうとある人が実験で、そういうふうに思つただけでその葉っぱ 자체が電極かなんかをつないどくと反応、針が

動いて植物自身が動搖しているつて言うような解釈してゐるんですけれども、そう思つただけで実際に葉を焼いたりするときよりもその人が思った瞬間に植物に現れるつて出でるんですね。或いは人参でも置いといて、そこで生きたエビを熱湯にバード入れて殺す実験をしたときに、その放り込まれたエビの死ぬ瞬間にその人参は動搖するつていうかたちで、針が揺れるつていうかたちで実験の結果が出ていましたね。それはアダムスキーガ言つてゐるようなマインドとはまた別のものなのか、或いはその同じ生き物つていう部分で結局同じ英知によつて生かされているというんで近くにあるものが死んだということに対して、生き物同士が相互関係の中で何らかの反応が出てくらうのかね、そんな話が出て生命のあるもの同士が結局つながつてはいるんだなつていうことを私は感じたんですね。だからそういう気持ちで植物に接していくば、例えば水をまくときにも植物が元気になつて生命が強化されて健やかに成長していくようなイメージを描きながら水分をあげたり、或いは植物の根本の所を手でエネルギーをそぞぎ込むようなことをやつたりすると非常に植物がよく育つていうのがあつて、そういう対象実験で、両方こうフィールド作つて、片方の植物はほつたらかしといて何もしないというのと、そういう愛情を注ぐというと明るかに成長具合が違うんですね。結局人間の想念のあり方というものが環境に現

れてくると思うし、同じ生き物同士よく動物とか植物とかつていうふに我々区別しているんだけど、本当は植物も動かなきながら成長してだんだん大きくなつていくんで、区分というの人は人間がつけているのであってね、本来は境目つていうのはないような気がするんですけどね。だからそういう意味では我々がつとつようないくんで、区別というの人は人間がつけていなければ、そういう物事を複雑に分離感というか、そういう物事を複雑にして考へてゐるのが地球人の習慣的な概念だとすれば、そういうものとは違う見方をその本の中いろいろ提示されるんで非常に勉強になつたというか、そういう意味では非常にいい本であつたなあと思いますね。ちょっとと厚いし高い本なんで、図書館でも借りて読まれるといじやないかなと思うんですね。特に植物の栽培方法についても、いわゆる有機栽培つてゆうのが人気が出てきていますよね。よく化学肥料とか農薬とかそういうものによつて一時的に増産することが可能になつても、結局土壤自体が力を失つてしまつて生産力が長期的に見るとどうしても落ちつきちゃうというのがあるらしいですが、それを回復させるのがまた大変な作業らしいんです。そういうふうに一時に利益だけを考えて、自分ないことだけでやつていくんじやなくて、全部自然の堆肥を大地の中にすき込んでいくことによつて、それはまあ手間かかる仕事ではあるんですけど、それが結局は一番いい方法なんだということ

で普及しようとしている人の話が載つてました。そういう意味でこの中でも先生が書かれてお話ししてたんですけど、いろいろな本も関連分野ということで読斯基ーが言つてることとつながつてくる部分がいろんな本の中で出てくれば、結局理解力を深めるというか、あつアダメスキーやが言つてることが別の面から見るとこういう風なことを実は言つてたんだなつてことがまたわかつてくるし、そういう意味でいろんな分野の話がつながつてきて、精神世界というだけじゃなくて、環境問題とかね、食生活の問題などかそういう風に关心が広がつてくるので、私が図書館に勤めてるから言えるんじゃないんですけどね、図書館をさんざん利用していただきたいなあと思えるんですね。

「あとはまあ図書館なんかでもリクエストつていうことをやつてますから、私なんかもまたにやるんですけど、自分がこの本は読んじやつてるんだけど、この本を多くの人に読んでほしいなと思うのをわざわざリクエストで出したりとか、その本を多くの人には読みほしんだと思うのをわざわざリクエストで出したりとか、その本を多く的人には読みほしんだと思うのをわざわざリクエストで出したりとか、自分が図書館の公共財というかみんなの財産になるんであつてね、それを通じて知識を吸収してもらえる人が多くなれば、それも地球人全体の意識に少しでもインパクトを、本当は小さいんですけどそれでもその地域で少しづつ与えられていく

ればいいんじゃないかなあと思うんです  
よね。」

——そうすると池田さんが勤めている図書館にはアダムスキーアー全集も、植物の神祕生活も全部あるわけですね。

池田「そうですね。ありますね。アダムスキーアーの本は図書館ではもう全部入ってます。全部の図書館というわけではないんですけど、中央館には全部ありますね。

まあ、地域館なんかにももってたりしたこともあるんですけど。」

——池田さんのリクエストで入ったんですか。

池田「そうですね。」

池田「図書館に行く前にリクエストしたり、あとは地域図書館には持つていて

りとかね。石田さんがだいぶ本を買い込みましてね、献本運動という形でやりましたんで、それにちょっと協力しまして、

いろんな図書館に持つてたり、あとはアダムスキーアー全集の前の箱に入つた本がありましたね、あれは文久書林ですね。あれなんかも新しく中央アート出版に買いましたとき前にあったものを図書に寄贈したりしたんですけど、そういう形で知識を少しでも広げていくっていうことで図書館にいますんでね、少しでもやつていきたいなあと思つてるんです。」

「あとこの中でここに非常に大事なことが書いてあると思うんですけどね。」

『彼ら（要するにスペース・ピープル）

は観察される個体があたかも自分自身



であるかのようにその個体について意識的になる』

という所が非常にまあポイントだと思う

んですね。ここは特にゴシック体で書いてありますね。これはさつき言った分離感を持たないと言うことにも通じて来る

んですけれども、例えば対象が人間であるとかなか難しい部分がやつぱりある

んです。それはどうしても好き嫌いの感情とかこの人が合うとか合わないとか

ね。『何あの人信じらんない』とか、そう

いう話題の世界ですから、日常の職場でもそういうところでお酒を飲めば悪口

ばっかりみたいですね。良くないところがあるんでなかなかそういうふうに人間は難しいんですけど、ただそれでもそういう

ふうに自分で努力していかないと、特に動物とか植物についてはさほどでもなく、対象があたかも自分自身のような認識になるということは比較的やりやす

いなと思うんです。反応つていうのも、例えば私なんかは動物は飼つてないんで

すけど、やっぱりこちらの方で親しみを

持つた感情で接してくると大はしつぽ振つて近づいてくるとかしますよね。あとは例え、池なんかを泳いでる鯉とか、川なんかを泳いでる魚がいますよね。そしてするとその魚をしばらく観察してゐる

です。そうすると非常に気持ちよさそうに泳いでる様子というのがなんか伝わつてきましてね。スイスイスイ泳いで、そういう時つて言うのが本当にその魚と

自分自身が距離が無くなつちやつているような状態なんぢやないかなあ、なんていう感じがするんですね。』

「あとは自分の目標としてはどんな人であつてもその人は自分自身だと自分の好きなタイプの人だけじゃなくて、どういう人にもそういう感じに持つていてける

ようにね、努力したいなあと思つてるんです。そういうふうに自分が変わると相手も変わつて来るんぢやないかな。結局こちらがいやな人だなあと思つてると向こうもやつぱり自分のことをそう思つてるんですね。そういうことつてよくあらざると思うし、やつぱり自分がいい感情を持つてた人だと、向こうもこう近づいてくる。もちろんその同質集結と言うこともありますので、そういう人が自然に集まつてきて、仲良くなるつてこともありますけど。やつぱり自分ですごいやりなあと思ってる人がいたときでも、でもこの人は本当はいい人なんだいい面もたくさんあるんだというふうにやつぱりその人が考へてるんだと思うんですよ。だからそれ

は、その人の理解力に基づいて一番いい方をするつていうのはやつぱり自分自身に良くないんぢやないでしようかね。そ

ういうところができるだけ同情心を持ちながら、やつぱりこいつたいなあというこ

子が良くなるみたいなこともありますね。やつぱり自分は本当に絶対イヤダメの経験もありますんで、こういうのは人間界の一つの法則なんぢやないかというふうに感じますね。そういう意味では毎日いろいろ格闘している所なんですね。『あまりいいお話をできなくて、そういうふうに行動しているのはどうしてなのかなつていうことを、やつぱりその立場に立つて、同情的に考えると、も高めて、その人はそんな風に考えたり

ます。』

「あまりいいお話をできなくて、そういうふうに行動しているのはどうしてなのかなつていうことを、やつぱりその立場に立つて、同情的に考えると、も高めて、その人はそんな風に考えたり

んですね。あの人なんでそんなことやるんだろとか、ちょっとおかしいんぢやないかみたいなすぐ人のこと非難したり、悪く言つたりする人が多いんですけど、やつぱりその人がそういうふうに考

えてそういうふうにやつぱりつていうの

ないかみたいなすぐ人のこと非難したり、悪く言つたりする人が多いんですけど、やつぱりその人が考へてるんだと思うんですよ。だからそれ

は、その人の理解力に基づいて一番いい

つてその人が考へてるんだと思うんですよ。だからそれ

は一概に、だめじやないかみたいな言い

方をするつていうのはやつぱり自分自身に良くないんぢやないでしようかね。そ

ういうところができるだけ同情心を持ちながら、やつぱりこいつたいなあというこ

とですね。』

「今日はちょっと早めにきましたので、

露天風呂に浸かつてきました、なんか

よつとやけてしまつて（一同笑）眠くなつてしまつてその分リラックスできたから良かつたんじやないかななんて思いますね。」

——どうもありがとうございました。

山田さんいかがでしようか。

山田「目を怪我したときに？」（親子）

敏史 目を怪我したときにぼやけてたの。それでぼやけたのを『ぼやけてないばやけてない』ってハッキリ見えるようになると、思つてたら、気のせいかもしないけど、ぼやけんのが薄くなつたような気がした。

——その場ですぐに？ サゴイ！ ジヤ

それは何日かたつてからじやなくて、けつこうすぐにな。

山田「本人が怪我したときにこれは夢じやないかと思つたそうですが、（一同笑）こんなことがあつていいんだろうか（一同笑）痛くて泣きわめいてたくらいなんだけど、だけど本人は（テープB面へ）——それは投げられてぶつかつちやつた？

山田「投げられたものを普通の人だったから受け取れるけど（一同笑）」  
——そんなことはないだろけど、でも想念の力で治したわけですね。

山田「まあ、ある程度そうですね。」

——それを弱氣であー痛いだめだと思えばそのままやけてしまうだろしね。山田「やっぱりみんながそれを疑わないでしよう。だめだなつと思つちやわないのでね。」

「この前のレクチャードのよつと前のところで、DNAの問題が出てきましたよ。あの先生もなかなかいい波動でしたよ」と言つたあの本ですね、「DNAに魂がある」私は買いましたけれども、ちゃんと読みました。まだ全部読んでないんですけども、あの本は結論的にいえ

ばね、アダムスキーフ哲学に結びつくかどうかというとちょっとそれは疑問があるような気もする。でもすごくいいこと言つるところもあるたりして、例えばアダムスキーフが目を窓にたとえてる所ありますよね。あれと同じようなこと言つるんですよ。全く同じよなこと。で、目

がものを見てるんじやなくて、ものを認識したり見たりするのも要するに自分の中の意識だという言い方はしているんで

すよ。それが全くアダムスキーフが言つてることと同じことを言つてますね。

その書いた学者というのはDNAの模型を見ついた一人なんですね。その人が書

いているんですね、世界的な学者ですよね。目だけ見ているのとそこに意識という要素が加わるとどこが違うのだという

言い方をしてるんですよね。視覚の問題から入つてくるんですね。だから怪我したんですね。（笑）ちょっとそれ考えさせられました。要するに何でものを見

るかという感じですよね。」

「あとこの前、輪廻転生の問題も『ち

やごちや言つたと思うんですけど、ちょっと私前に読んで忘れてたんですけど、あれ

アチベット密教の中に出で来るんです

よね。ある種の教えの中に。それとすこく似たようなことが出て来るんですね。それが秋山さんの言つてることと関連して来るんで、あつ、これとずいぶん結びつくんじやないかなと私は勝手に自分で思つていました。アダムスキーフもチベットいましたよね。きっとそれはもちろんそういうスピーチが聴ける組織だと思います。それで、それは密教のね、教えの中に秘

スリしましたよね。きっとそれはもうなんそういうスピーチが聴ける組織だと思います。それで、それは密教のね、教えの中に秘められた部分が多いんじゃないかなと思

います。すごくそれ関連してると思うし、で、そういうね、いわゆる意識というのが覚醒するためにはどうしたらいいか

というのもそういうところに出て来るんです。だから意識、意識といつてますが、それをいかに覚醒させた状態にさせるか

というのは、覚醒すれば、次に転生するときにもそれはたぶん記憶としてつながつて行くはずだと思うんです。覚醒するかしないかということを進めたい

と一生懸命に思つてるんですけど。」

——その密教の中に覚醒する方法が書いてあるんでですか

山田「それを具体的に言うと、要するにチベット密教の教えの中に一時期チベット密教がはやつて死者の書とか出でてきたじゃないですか。あれの一部なんですね。それを全部丸飲みにするのはちょっとあまりに神秘主義過ぎてちょっとあれなんですけど、その中で出てくる一部分に要するに人間のいわゆる魂の部分みたいなものが背骨の中のちょうど中心ぐらいにあって、それが結局だんだん死が近づい

てきてそれがだんだん覚醒すると、覚醒した状態で次の転生する肉体に行くといふ形で書いてあるんですね。」

——はい、ありがとうございます。では有坂さん。今日は幹事の苦勞様でござります。なにか変わったお客様が来たとかいう話をさつきまで聞いたんですけど、お

話は2次会ですか。

有坂「お酒の席で……」（一同笑）

元井「避けました。」（一同笑）

——では元井さん

元井 さつき池田さんが『植物の神秘生活』のお話ををしてましたけど、『植物は警告する』という、昨日図書館から借りてきました、これから読む所なんですけど、植物の能力については結構前から興味があ

るんですよ。そこで前にテレビでもなんかあつたんですね。植物の葉の例の実験です。人間を4、5人用意してそのうちの一人に葉っぱちぎらして、もう

一回その5人を入れ替えて、今度は触れ

さつき葉っぱをちぎった人の時だけ激しく反応するんですね。だから喜怒哀楽は

ないんだと思うんですけども、種を保存しようという根本的な仕組みというのが

あってそれに素直に生態的に反応してるのかなという気がするんですね。意志といえれば意志なんですかね、生命を存続

させるための意志の働きだと思うんですけど、それを感じているのと、あと植物

つて静的な生き物だから、人間の持つている潜在的な力についてあまり注意を十



「あと4課の話に戻ります。この本の中では、遊星人が自分の英知と一体化させるための方針を唯一書いてる箇所かなっていう気がするんですね。だから、この生命の科学の中でも他に意識と一体化するという表現では何回も出て来るんですね。けれども、具体的にじやあどうしたら自分を一体化させられるのかという所では一番ハシキリ言つてる所なんですよね。

『あたかも自分であるかのようにその個体について意識的になる』

『あたかも自分であるかのようにその個体について意識的になる』

——若干こういう所来ると違いますね。いつもの場所から遠く離れているってこと自体が。

元井「そうですね。だから、場所変えてみるとかね。違う刺激というのがたまに必要というかね。」

「それでさつきみなさんのお話を聞いてみると、地球人はどういう状態なのかななどと思つたんですけど、麻薬中毒患者に近いのかなと。だから中毒症状に気づいてないというか、もう思考能力はないというかね、切れてくるとその麻薬で動いちや

「あと一つ、わかるようではさつきの低い現象もなければ生命界は完全にならぬい」ところがあるんですけれども、ここはわかるような気もするし、なんか納得できない部分なんですよね。まだね。この神の創った世界によつて、あらゆるもののは必要だという表現的にはいいんだけれども、なぜ低い現象まで必要なのかなというのがちょっといまいち納得し切

てそれが切ってきてまともな人間になるためには、はするに禁断症状があるわけですね。その苦しみが出てくるわけです。だから二元性が起つてゐる理由の中で、高い性質の状態の時と、低い状態の時が結構極端に出てきますよね。結構僕も悩むんですけど、高いあるべき姿みたいないね。純粹に考えて気分良くなつたときと、翌日にはもうなんだこんなものという感じで、雰囲気の時と出てくるわけですよね。それがそのなんちゅうかな、いい面を追求していくと同時に、それにに対する抵抗をする細胞というのがそのまままいといふ、進化したくないんだといふ抵抗する細胞というか、今のエゴの今までいいんだってフレークをかけようとするというのか。それがいろんなこの不愉快な気持ちを起こさせているのかなとも思うんですよ。自分が不愉快なときにも陥つてもまるつきり100%飲み込ま

誤している。そういう意味で進化つてい  
うか進歩つていうか、それが常にある段  
階を経てそういう意味で高いとか低いと  
があると思うんですよ。」

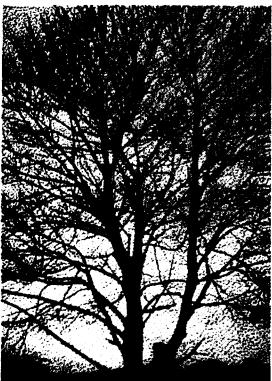
元井「うん。相対的な話なんですね。  
そういうことを話してると、そりゃ  
なんだなと納得できる。これはあくまで主  
観的な位置的な熟さない善の話なんだ  
と思うんだけど、だけど完全であっても  
いいじやないかっていう希望っていうか  
ね、宇宙っていうのは最初から最後まで完  
全で美しく高度な表現で、現象もすべて  
そういった世界で進んでいくべきだろ  
うと思うんですけどね。そこがちょっとと  
私の中でまだ課題かなという感じですよ  
ね。」

井川「僕もわかるような気がするんだけ  
ど、完全という言葉がその完全で止まつ  
ちやうような気がするんですよ。だから  
確かアダムスキイーがどつかで宇宙自身も  
進化している。だから宇宙自身も試行錯  
れでない」

ども、方法としてやつてきたのは見た目ちょっとと雰囲気に合わないなと思う人が来たときに、それが例えれば女性だった場合に自分の妹だと思いつこむんですね。そうするとね若干違和感というかそういう気持ちが和らいできて、できれば助けてあげたいとか、力になつてあげたいと思えるようになつて来るんですよね。すべて自分と血縁関係にあるんだと思って、昔地下鉄まで通路歩く間に向こうからずっと来るんですけれど、すべての合う女性じやなくともやり易いんだけど、(一同笑) 実際僕は妹いないんですけど、すべて妹だと思うんですよ。年上の人もあんまり年上的人はお母さんと思つたりしてね。そうすると、これが意外と仲良くなんまり自分で拒否反応が起きない方法ですね。これがあたかも相手と一緒に化いうとこまで行かなくとも、要するに自分の妹だと思ったら、そんな意地悪しないですね。という方法を探つたことがありますね。」

井川「見知らぬ人の場合なんだけど、社会生活してると、仕事をしているとき合

わないとか合うとかあるじゃないですか。」



元井「もちろんあるんだけど、そこでそのまま突っ走るとやはりこっちも無言で喧嘩することになる訳ですよ。そこを脱しながらいけない努力ですから、何これとしても(一同笑) 思いながらもこれが自分の妹だつたら目をつぶるんじゃないかな」(一同笑)

井川「社会生活してて、例えば僕なんかよりも年下の人と仕事しているとき、(聞き取り不明) そういう時つてほら力チンと来るじゃない。克服しなきゃならないと思ってるんだけど、いま元井さんの話聞いてて相手を弟と考えていいのかなつていうと、そうなると逆に弟からこんなこと言われてなんか頭来るじゃないですか。」(一同笑)

元井「でも若い人だつて結局は何十年か前は自分よりも年上だつたでしょ。だからそういうふうに考えれば年齢つていうのはあってないようなものだから。魂と魂のつきあいということになつて。」

元井「血縁関係だとやっぱりどつか許しちやうって言う部分ありますよね。そこの方がポイントですね。」

元井「だからそれは自分の一部分だからでしょ。だから自分の一部分として感じられないよやはり分裂感というのはどうしても避けられない。他人の不幸は別にどうでもいい。本音の部分でね。自分と自分のファミリーが幸せであれば全世界が不幸でもいいや。極端な話そういう波動が渦巻いてる訳だから。」

井川「昔体験したただれどもこんなこ

とありました。そのときはまだ自分は純粹だったかもしれないんだけど、全然見

知らぬ人だつたんですね。別に好きとか嫌いとかない女性だつたんだけど、細胞レベルでその人を意識しようとすると、これが自分の妹だつたら目をつぶるんじゃないかな」(一同笑)

元井「もちろんあるんだけど、そこでそのまま突っ走るとやはりこっちも無言だつたかもしれないんだけど、全然見

うまいかないです。いきなりそういう関係がなくてやつても子供の方でチャンネルがきてないでしょう。」

山田「あまりに(聞き取り不明)」(一同笑)

元井「この歳になつて・・・」

池田「そういう意味ではすごくいいお話をだつたなあと思うんですね。そういうふうにもつてくための一つのテクニックといふて。」

池田「先ほどの元井さんの話でね、本当に相手に伝えたいとかこういうふうにちよつと注意したり、特にそうあつてもらいたいと思うようなことを話すときに、やはりその人と感情的にちゃんと感情の

元井「過去のカルマがいろいろあつてね、だからそういうのが見えないからいやな

原因というのが必ずあるんですよ。それは過去の傷ね。なんか引きずつっているん

ですよ。そういうのも勿論あるんだつてことは生まれながらにやはりその今まで

は、いちやいけない訳ですね。」

井川「良い感情を作り出すつていうのを自分で努力しなくちやいけない。」

元井「勿論、だから麻薬患者ですから、やつぱり強制的に治療しなくちやいけないですよね。さもないと引きずられたま

ま。」

元井「親子の関係と同じなんで、幼児を



扱うときにはまず最初に抱いてあげて信頼

関係を築いてからじやないとしつけつて

うまいかないです。いきなりそういう

関係がなくてやつても子供の方でチャン

ネルがきてないでしょう。」

山田「あまりに(聞き取り不明)」(一同笑)

元井「結構今まで自分がやつてきた考

え方とかね、習慣的ないろんな行動とか

ね、そういうのはやつぱり、人間の細胞

レベルだとそれを変えようとなるとすごい抵抗があると思うんですね。だからできるだけ今までのやり方でやりたいみたいですね。やっぱり細胞レベルでマインドみたいな感じますよね。だからそれでもある習慣を自分で変えてこれは良くなかったなと思った場合に、別の習慣を取り入れてやつてこうとする時にやっぱり抵抗を大きく感じる訳けなんですね。

だからその時にさつき麻薬患者といわれたけれども、ほとんどの細胞レベルで言えば、その方向でそのベクトルで全体が進んでいこうとするのに、それだけ自分を変えていくかていうのはある意味では本当に自分との闘いですね。ただでもそれをやつていかないといふね。習慣つてゼッタイ直らないですよね。しかも細胞にとっても今までやつてきたことをそのままやつてきた方が楽ですかね。それを変えるために強い意志が必要だし、細胞をなめすかして自分が細胞の主人公にならないといけないわけなんでしょうけどね。」

元井「高いレベルの人と接触しなさいとか書いてありましたね。高いレベルのものでもいいと思うんですけど、それが結局アダムスキーフィルムが最高に地球上についている波動の高い波動の触物なんですね。そこから吸収しないといけないと思つてますよ。」

池田「本当に宝石箱ですよね。いろんな所にいろんなヒントみたいなのがちりばめられているしね、知識も。」

## 【ロサンゼルスのUFO】



## 植木淳一

ゼルス・リトル東京の大通りの歩道にて、日本GAP海外旅行団として同行した大木氏がVTR撮影したもの。旅行団一行は、夕食を食べ、「養老の滝」へと向かつたのですが、私達二人は、横断歩道上で目撃をしたため、渡らず引き返し取り残されたのです。

す。

アダムスキーフィルム百年目にあたる1

991年には、ソ連の崩壊がありました。

これはどのような意味をもつのでしょうか

か。アダムスキーフィルムのコンタクトが行わ

れた1952年には、米国で初の『水素

爆弾』の実験が行われました。これは1

945年に開発された原子弹に、重水

素やリチウムの核融合物質を添加し、爆

発力を数十倍から千倍以上に高めたもの

でした。この核爆弾は後にミサイルに搭

載され、30分間で世界中のどの場所を

も破壊できる恐るべき兵器となりました。

また、米ソの開発と軍備競争により、こ

れら核兵器は世界中を数十回破壊し直せ

た。このUFOも先ほどと同様に、ビル

群の上空高く舞い上がり、小さな白点と

して見えていました。やがてオニヅカ大

佐の記念碑のある方向に小さくなつて消

えゆきました。こちらの目撃時間は1

6分でした。

## 【再臨の時代】

このたび、清水横浜支部代表より、UFO目撲談寄稿のご依頼がありましたので、僭越ですが投稿させていただきました。このような機会を与えていただきまして感謝を申し上げます。

このUFO写真は、1991年8月8日午5時25分（夏時間）過ぎ、ロサン

に見える状態で静止と移動を繰り返していました。大木氏がビデオで映像を捉えたのは、上空に小さく見えるようになつてからです。手元のメモでは、このUFOを目撲していた時間は13分とあります。

二つ目のUFO出現は、UFOを見た後で、偕越ですが投稿させていただきました。このような機会を与えていただきまして感謝を申し上げます。

このUFO写真は、1991年8月8日午5時25分（夏時間）過ぎ、ロサン

感動を二人で話しながら歩道を少し歩いた時でした。やはり反対側のビル上空に現出したのですが、これは橢円形でした。

池田「本当に宝石箱ですよね。いろんな所にいろんなヒントみたいなのがちりばめられているしね、知識も。」

1952年に、米国会議事堂上空をUFO群が乱舞した事件は、世界を滅ぼしてしまう危険な水素爆弾への警告ではないかと思います。そして、同年にアダムスキーフィルムのコンタクト事件がありました。

1991 8 8

彼と会見した太陽系第二惑星から来たオーラン氏（仮名）は、やはり放射能と爆発の危険性を警告しました。この時点では、水素爆弾の存在は国家機密であり、ごく一部の人間しか知らなかつたはずです。しかし、こうして人類絶滅の危機を生んだ『冷戦』は、1991年のソ連崩壊によつて終わりを告げたのです。

このように、人類の開発した最終兵器としての観点からみると、アダムスキーフ氏に関して、年代の一致が偶然とは思えない部分が感じられます。さらに核兵器の存在は、世界で唯一核爆弾の被爆国である日本にとつて重要な問題でした。

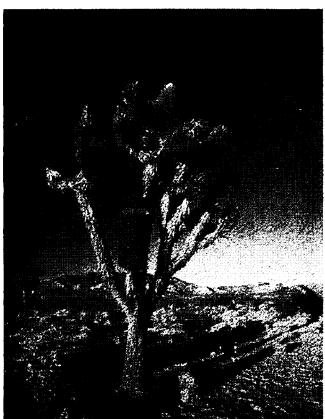
また、1952年のコンタクトから40年目の1992年に、「第二アステロイド帯（太陽系に存在する二つ目の小惑星帯）」に相当する「カイペーベルト天体」が発見されたこともけつして偶然ではないと思うのです。「第二アステロイド帯」は、冥王星や海王星の外側に存在していいたため未発見でしたが、その存在や位置は、1961年の彼の著書である「さらば空飛ぶ円盤」に掲載されていたものでした。この発見は、ソ連が崩壊し、世界の緊張が緩和した次の年であることも見えない事実です。

「第二アステロイド帯」天体の発見は、彼の正しさを証明するものに過ぎないかもしれません、もしかしたらこの時点から、彼の体験に関して、次々と証明が現れてくる新たな局面が生じてきた転機ではないかもと思うのです。それに迫り

討ちをかけるように米国による10年間の火星探査計画が始りました。また、日本も月や火星の探査計画をまじかに控えています。しかしこれは今後の展開を待ちたいと考えます。

スペーススピープルは何のために地球にやつて来るのでしょうか。一つの考え方ですが、私はイエスの約束した「再臨の時代」が来ていると思うのです。彼ら天使達は、転生してきた人達や、地上でオーブンマインドをもち、地球の状態を良くしようと努力する人達を陰ながら援助していると言わざれきました。私は『冷戦の終結』という一つの事件をもとに、その可能性を認めたいと思います。彼らの活動は、また科学技術の発展と精神的な分野における人類の啓蒙活動もあると思います。久保田先生のお話によると、彼らの活動は、やがて天国のような世界を地上に出現させるであろうと言われます。

我々は彼らの活動に感謝しつつ、この素晴らしい宇宙の学校の一つである地球と人類の発展へ、祈りと努力をささげたく思うのです。



# ミラクルワード・パート2

## 私の過去とそれから

佐藤 彰

本だけではだめだ

からトーツと読むんですね。そうすると、人生経験がまた進んでいますから、また別の点に引かれるわけです。すると、今度は黒でなく青で線を引いてみる。そういうわけで、心が引かれたところに線を引く、時間がない時には線を引いたところだけ読むという形で読みました。

この記事は一九九五年一月五日、日本GAP東京本部月例セミナーにおける佐藤彰氏の体験講演をそのまま文章化したもの。

佐藤氏は東京造形大学で教鞭を執られ、日本でも初めて久保田先生を正式な大学の授業として招かれました。毎回好評を博しており、佐藤氏のイメージ力とミラクルワードによってユニークで時代を先取りした授業を実現した形となっていました。今回の体験講演は六月に講演された「七つのミラクルワード」の続きとして行われたものですが、より具体的な体験を交えて、イメージ力とミラクルワードがいかに大切かを非常にわかりやすく伝えていました。(S) (掲載許可済み)

飲んじやいけないという話をしていますので、飲まないつもりでいたんですけど、今日は日本GAPの講演があるということで、風邪薬を二錠のみました。それで服を着まして、なるべく汗をかいて朝まで待ちました。それではなんとか風邪は遠のいて、ちょっと熱っぽいかなと思うくらいの状態です。そんなわけで、現在は唇がちょっと白っぽいような状態で、しゃべりづらいような声なんですねけれども、まあがまんして聞いてください。

今回は、サブタイトルとして「私の過去とあれから」ということで、ちょっと意味深なテーマです。それは、さつき様さんからお話をいただいたように「ミラクルワードの関係でもう一度」ということでしたので、こういうテーマにいたしました。

どうも、みなさんこんにちわ。

昨日なんですが、夜中に突然異常なさむけに襲われました。それで、私は薬を

私の本の読み方

私の精神探索といいますか、そういうのは、やはり高校くらいからでした。私は人間が横着なもんですから、なるべく楽をしてなんかいいことはないのか、とういうのが原点なんです。もしも、全然努力しないでテストの答案や答えがわかれぱいいなど、そういうようなことで本を読みだしたんですね。それで、とにかく最初に勉強するのは本ということでした。

本もいろいろ読みました。私の本の読み方は、まず最初にわーっと一冊読みますよね。その後、ゆっくりと丁寧に読みながら気に入ったところに線を引くんですけど、何を感じたのか書くんですね。を感じたか、例えば順序事でもいいんで、三回目には、そのラインのところだけ読む。すると、次に読むときには読書時間が短縮されるわけです。それで気にいつて、しばらくたってから、あの本はこうだったなと思った時には、また最初

一冊読むと、次には、どうもこの本じゃなんか納得のできない、という面がでてきます。それでまた本屋にゆき(別の本を買います)。それで、わーっといろいろ読んだんです。そうした精神関係のものでは、たとえば糸川英夫さんの「逆転の発想」とか、大川隆法さんの「常勝思考」、深見清山の「強運」とか、三浦道明さんの「強運をつくる」、是栄冠氏の「成功法則」なんかがあります。「成功法則」(という題名)はかなり多くの人がだしてますね。河野森広さんの「想念の魔力」、田中考頼の「成功のメカニズム」、力、「田中考頼の「成功のメカニズム」、こういうのを読んだわけです。

それらの中で、たまたま先月の月例会で久保田先生がおっしゃっていた、プリストルの「信念の魔術」、マーフィーの「眠りながら成功する」、このふたつが私にとっては一番影響力があつたんです。これはかなり前から読んでいて、自分としては第一回目の「ミラクルワード」というんですか、自分でつくつて、いつも心の

中で唱えていたもののはじまりでした。

それで本の場合たとえば「逆転思考」などでも、読んだときには「逆転して考えなきやいけない」というと、そうだと本気になつてやるんです。しかし、読み終わつた後、少したつとまた元の自分に戻つてしまふんです。

## チャネリングが本当なら

そういうわけで、こういう本だけではだめだというわけではじまつたのが、ここに書いてある講習ものです。一番最初に行つてみたのが、「サイキック開発法」というケビン・マイヤーソンのところで、この人はシャーリー・マクレーンの本の「アウト・オナン・リム」の中で、自分が精神的に先生となり、旅にてマクレーンに幽体離脱をさせてくれた超能力者なんです。わたしはその本をずっと読んでいました。その本を訳したのが、山川絵也さんと朋子さんといふご夫妻でした。このお二人は、よく精神的な本を訳しています。私が一番最初にこのご夫妻の本に出会つたのが「怠け者の悟り方」という本だったのです。この本はその表題から受ける印象と違つて、哲學的な非



常によい本でした。その関係で私は田村孝典さんと出会いました。その田村さんは、湯川礼子さんの旦那さんなんですよ。彼は、ダイヤモンドに惹かれています。ダイヤモンドのカットを研究したんですが、今までのカット法ではどうも納得が行かない。それでカット師になつて研究した結果、八つの面を持つカットの「エイトスター」というカット法をつくりだしたんです。それは今でもまだ売つていると思います。

そういうダイヤモンドに魅せられ、また奥さんとの関係もあってケビン・ライアンを読んだんです。最初は、ボイス（声）という名前で、紙何枚かの薄っぺらの印刷物だつたんです。しかし今はリラクセーションなどのブームになつた

ことだよ。そこで足を振るんです。「はい、足を振りましょう。シャンシャンシャン」。次に、リラクスして、大宇宙思念法と同じよう、おなかに手を当ててスー、ハー、息を吸つて吐く。それでイメージを膨らます。可能な夢を思い浮かべる。そういう方法でした。

その次に私が出会つたのが、「宇宙存在バシャール」という本でした。これくらいの厚い本なんですね。なんで私がバシャールの本をもつて来なかつたかというと、重いからもつてこなかつたんですけど（笑い）。

これくらいの本に細かくワーツと書いてあるんです。

この文章がまた気に入つたんです。「心の中でワクワクすることをやりなさい」ということなんです、結論的には。「それが自分の使命だ。」ということです。おお、これはいいなあと。それじゃ一度行ってみようかといふことで、出かけてきました。

それによると、宇宙のあるところに星があつて、そこにある人間（生物）がいて、そこから地球の人間に

せいか、何万冊も売れるので、そこは厚手の小冊子になつています。

そこではどういうようにするかというと、まず、体をリラックスさせると、まず、足を振るんです。「はい、足を振りましょう。シャンシャンシャン」。次に、リラクスして、大宇宙思念法と同じよう、おなかに手を当ててスー、ハー、息を吸つて吐く。それでイメージを膨らます。可能な夢を思い浮かべる。そういう方法でした。

その後で、私は田村孝典さんと出会いました。その田村さんは、汤川礼子さんの旦那さんなんですよ。彼は、ダイヤモンドに惹かれています。ダイヤモンドのカットを研究したんですが、今までのカット法ではどうも納得が行かない。それでカット師になつて研究した結果、八つの面を持つカットの「エイトスター」というカット法をつくりだしたんです。それは今でもまだ売つていると思います。

そういうダイヤモンドに魅せられ、また奥さんとの関係もあってケビン・ライアンを読んだんです。最初は、ボイス（声）という名前で、紙何枚かの薄っぺらの印刷物だつたんです。しかし今はリラクセーションなどのブームになつた

ことだよ。そこで足を振るんです。「はい、足を振りましょう。シャンシャンシャン」。次に、リラクスして、大宇宙思念法と同じよう、おなかに手を当ててスー、ハー、息を吸つて吐く。それでイメージを膨らます。可能な夢を思い浮かべる。そういう方法でした。

その次に私が出会つたのが、「宇宙存在バシャール」という本でした。これくらいの厚い本なんですね。なんで私がバシャールの本をもつて来なかつたかというと、重いからもつてこなかつたんですけど（笑い）。

これくらいの本に細かくワーツと書いてあるんです。

この文章がまた気に入つたんです。「心の中でワクワクすることをやりなさい」ということなんですね、結論的には。「それが自分の使命だ。」ということです。おお、これはいいなあと。それじゃ一度行ってみようかといふことで、出かけてきました。

それによると、宇宙のあるところに星があつて、そこにある人間（生物）がいて、そこから地球の人間に

想念を送る。それで答えるんです。そういうチャネラーとして、アメリカには、この人、ダリル・アンカがいて、日本にはまだ別の女の人がいるんです。この人は、すごくおだやかな人なんです、頭ははげていますけど。それで日本にくると「日本の皆さん、こんにちわ。（ゆづくりしゃべる）」という感じなんです。それでイスに座ります。「今から宇宙存在バシャールが入りますので」と言つて目をつぶるんです。すると急に「地球の皆さん、こんにちわ。＊＊＊＊。」（早口）といふふうに、すぐ早口でエネルギッシュなんです。すると我々もそれを見て、「おお、すごい」と思つてます。それでいろいろと質問をすると、ワーツと何でも答えるんです。それで「ほんとかもしれない」と思うんです。たとえば、アトランティスがつぶるんです。たとえば、アトランティスのこととか、人間関係のことなど何でも全部知つている感じなんですね。

北緯何度東經何度付近にアトランティスがあつたとかね。

ただ、彼は宇宙存在だから、英語でも日本語でもなんでもしやべれると言つてゐるんですが、実際には英語でしかしゃべれない。日本人は日本語でしかしゃべれない。チャネリングが本当なら、日本人が憑つてきたら、米国のチャネラーでも日本語でしゃべるし、米国人が憑つてきたら日本人のチャネラーでも英語でしゃべるはずなんです。ところが実際にはそうはないかい。それである人に聞いてみたら、それは訓練によるのだと言つんで

す。つまり、いろいろな質問に対しても、ワーッとしゃべる訓練をしているというんです。チャネリングをしている人はほとんど(そうだと言ふんです)。(それで、色々と答えるといふわけ。)

## 多くの能力開発セミナーに参加する

次に、見つけたのは能力開発ゼミナー。小林満さんです。この人は体が弱くて、それを解決するために、最初、食べ物などを考えだして、さらに精神世界も直さなければいけない、とやりだしたわけです。

正式には、自己超越成功セミナーと言います。国際真理開発協会というのを開いています。じつは私は昨年の講演の時に、名刺による「割り箸切り」をやつたんですが、それをやつたり、「人橋」といいましてイスとイスの間に人を寝かせてウツと橋をつくり、その上に人を乗せる。これは女、子供でも、わりと重い人を乗せて大丈夫というわけです。実際、筋肉的には、一本の指に二五〇kgでも持てるのです。人がウツと緊張した時にはそれだけのパワーがでる。これは誰でも出る。でも「割り箸切り」にはある程度コツがあります。わたしは空手をやつていましたので、瓦のためし割りができました。瓦を割るときには、瓦を割るときに最大の力が出るようにする。また、瓦を

割るときには表面(を叩く)だけでなく、それを突き抜けてその向こうまで力が到達するように切る。私は一〇〇%最初からできましたが、人によってはなかなかできない。でも最終的にはだれでもできるんです。そのコツは、このようないいこみと、叩く(切る)速度です。

この開発法は、こうなんです。親指をグッと握りしめ、歯を食いしばり全身に力をいれて、息を止めてウツと一二三、四秒、力を抜いて息を吐く。つぎに四秒、五秒。それで、グーとリラックスした時に手足の部分を感じていて、最後にこれを叶えたい、これを叶えたいと思うんです。これも非常に似ていますね。

ただし、これは二日間で、なんと16

万円払ったんです。先のサイキックのケビン・ライアーソンは二日で四万円だった。でも、かみさんと子供を連れて行ったんで、四三が一一万円かかったんです。

またその主催者は、小学校の三年生の子供を連れてきましたんで、びっくりしまして、終わってから「今回の参加者は

最年少で、なんと小学二年生で、二日間のうちに受けました」と言つたんです。

息子は頭かいていました。彼は何やっていたかといふと、昼寝してたんですね。「おとうさん、あきもしないで、二日間もこんなことやつて。こんどはバースワンだ。」

と詰られてしまつた。ところが、「エロヒム」が天と地を造つたとある。それをいろいろと翻訳しているうちに「神」

第一章の創世記には、ヘブライ語で「エロヒム」の意味は「天空から降り下りし人々」なんですよ。ああ、そういうことがあつたのかと思つたんです。そういうふうに、聖書の通常の解釈といろいろ違うんです。十戒なんか彼らから与えられたものですし、紅海をイスラエルの民が渡るときには、上から空飛ぶ円盤が操作して紅海の水を分けたというわけで読んだんです。すると、なんだラエル

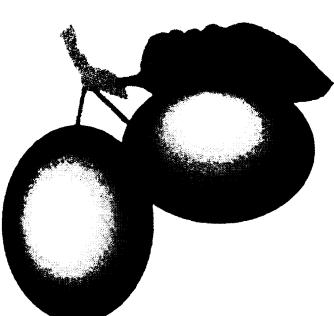
です。それでも私はそういう波動に触れて、共鳴しただけでもいいかなと思うんです。

ええ、もうそんな時間ですか? 何も言わないうちに。

## アダムスキーを知つてから

そのあと、ラエリアン・ムーブメントに入つたんです。皆さんの中には知つている人もいるし知らない人もいるでしょう。そこに行くと、ポスターがダーツと貼つてあります。それで話を聞きますと、ある時、空飛ぶ円盤がフランスの山に現われた。

宇宙人が降りてきて、聖書というのは、我々と地球上との関係を示したものだと言って、ノートをもつてこいと言つた。それで一週間の間話を聞かされて書いた。第一回の創世記には、ヘブライ語で「エロヒム」が天と地を造つたとある。それがアダムスキーを知つてから、会員達は全員がもし核戦争が起きたも助かるんだというんです。そのためには金がいる。年収の三%。一千円払なればならないんです。そこには金がいる。年収の三%。一千円払なればならないんです。そこには金がいる。年収の三%。



得する。そんなわけで、そこにしばらく入つてました。

彼らは他に色々とコンタクトィーはいるが、本物の使命を帯びているのはラエルだけなんだと言つて、イスラエルにエロヒム達と交流するための大天使館を造ろ

うとしていました。空飛ぶ円盤はそこに降りてきて、会員達は全員がもし核戦争が起きたも助かるんだというんです。そのためには金がいる。年収の三%。一千円払なればならないんです。そこには金がいる。年収の三%。

「先生、こういうのがあるよ」といつて、アダムスキーを持つてきたんです。それで読んだんです。すると、なんだラエルというのはこれと同じじゃないか。これ

をひよつとしたらマネしたんじゃないか。  
私は四六才ですがラエルは私よりちょっと年上で五十いくつですよね。それで昔、新聞記者をやっていた。ということは、

アダムスキーオの情報は必ずはいついたはずですよ。私がさえ、過去に読んでいたんですから。そういう情報から話を作り上げたんじやないかと思つたんです。

そうすると私の性格としては、それは許せない。それで会員の方に出したいんですけどその名簿がないので、幹部全員の名簿を取り寄せたんです。

それで「ラエルというの、おかしいんじやないか。ほんとはアダムスキーオのまねじやないか。」「ラエリアンの皆様へ・・・」と書いたわけです。アダムスキーオの方は似た写真を何枚もちゃんと撮っているのに、ラエルの方は全然似ていない。そういうのとか、(様々な円盤写真をみると)この地球はエロヒム達が起きたと言つうように一つしか(宇宙人がやつてくる星が)ないとする不都合が生じる。ところがアダムスキーオ氏は、宇宙には沢山の星があつてそこから色々な円盤がやつてくるという。それから、大使館にはお金がかかる。少なくとも二〇三〇年までに円盤が降りてくるのだけれど、それまでに金をためなきやいけない。ところが、アダムスキーオだと、そこいらの大都市には宇宙人がしょつちゅう歩いていて、その必要がないという。それから、2030年までにはラエリアンは死

んでるんじゃないか、というようなことを書いたんですね。

## 唯一現実的だったアダムスキーオ

アダムスキーオの情報は必ずはいついた

はずですよ。

私がさえ、過去に読んでいたんですから。

それで会員の方に出したいんですけどその名簿がないので、幹部全員の名簿を取り寄せたんです。

それで「ラエルというの、おかしいんじやないか。ほんとはアダムスキーオのまねじやないか。」「ラエリアンの皆様へ・・・」と書いたわけです。アダムスキーオの方は似た写真を何枚もちゃんと撮っているのに、ラエルの方は全然似ていない。そういうのとか、(様々な円盤写真をみると)この地球はエロヒム達が起きたと言つうように一つしか(宇宙人がやつてくる星が)ないとする不都合が生じる。ところがアダムスキーオ氏は、宇宙には沢山の星があつてそこから色々な円盤がやつてくるという。それから、大使館にはお金がかかる。少なくとも二〇三〇年までに円盤が降りてくるのだけれど、それまでに金をためなきやいけない。ところが、アダムスキーオだと、そこいらの大都市には宇宙人がしょつちゅう歩いていて、その必要がないという。それから、2030年までにはラエリアンは死

です。ボリロンというのは姓名もほんとじやありませんで、本当なのは髪の毛だけだって書いてあるんです。それも載つたんですが、それを全員に配つたんです。

そうしたら、呼び出しがきまして、三人から本部によばれました。私は空手三段をとつてますから、三人くらいなら大丈夫ですから、ぜんぜん平気でしゃべりました。そしたら、そういう余計なことを言つた次男なんだと。そのように向こうで会つてきたときに言われたといふんです。また、彼らは遺伝子操作によつて生まれたんだが、おまえは実はキリストの次男なんだと。そのように向こうで会つてきたときに言われたといふんです。また、彼らは遺伝子操作によつて蘇らせることが出来るので、あなたが彼らを信じていれば、死んだ時にも二十歳くらいの姿で再生することができるといふ話なんです。それじゃあ、ラエルは不老不死のヤハウエの子なら、なんで俺より一つ年上なのか。なんで頭がだんだん禿げてきたし、年とつてきた。おかしいんじやないか、というようなことです。

それとか、胸にこういう饅頭型のものをつけている。それは空飛ぶ円盤についていましたと言つうんです。ところがイスラエルの人達が、ハーケンクロイツと間違えるからだめだと言われて変えてしまつたというんです。もし真実なら、変え  
る必要がないんじやないか。

また、UFO国際シンポジウムで、コ

ーラマンという人が、今まで調査したコ

ンタクティーの中で唯一現実的だったの

はアダムスキーオだけであったという

んでるんじゃないか、というようなことを書いたんですね。

たのは、まず、学求的雰囲気ですね。なんかこう、学校にいるような雰囲気で(笑)い)。向こうはこうですからね。(と人を抱く格好をする)やあ、佐藤さん。女の

人みんなこうやつてますからね(笑)い)。

そんなんで、違うなーと。それからあと、非常に会員の人人がまじめだというんですか、なんか中途半端な人がいないという

ような気がしまして。それで、私も本を

全部読みました。例によつて線を引いて

おいて人に言つんじやないという話で

したね。

そうしたら、呼び出しがきまして、三人から本部によばれました。私は空手三

段をとつてますから、三人くらいなら大丈夫ですから、ぜんぜん平気でしゃべりました。そしたら、そういう余計なことを言つた次男なんだと。そのように向こうで会つてきたときに言われたといふんです。また、彼らは遺伝子操作によつて蘇らせることが出来るので、あなたが彼らを信じていれば、死んだ時にも二十歳くらいの姿で再生することができるといふ話なんです。それじゃあ、ラエルは不老不死のヤハウエの子なら、なんで俺よ

り一つ年上なのか。なんで頭がだんだん禿げてきたし、年とつてきた。おかしいんじやないか、というようなことです。

それとか、胸にこういう饅頭型のもの

をつけている。それは空飛ぶ円盤についていましたと言つうんです。ところがイスラエルの人達が、ハーケンクロイツと間違えるからだめだと言われて変えてしまつたというんです。もし真実なら、変え  
る必要がないんじやないか。

また、UFO国際シンポジウムで、コ

ーラマンという人が、今まで調査したコ

ンタクティーの中で唯一現実的だったの

はアダムスキーオだけであったという

んでるんじゃないか、というようなことを書いたんですね。

## GAPに来て思ったこと

たまたま一人引つかつてきた人がいました。名古屋の古川ひろあきさん。この人が引つかつてきたんです。この人は名古屋の幹部だったんです。それで去年初めて合つて言うには、「いやあ佐藤さん、あなたの陰で、あそこのグループから抜け出すことが出来たよ。」と言つた。それで一月二三日に久保田先生から呼ばれるまで待つた。そういうわけで、ただ一人彼だけこちらに来ました。

会員の人にだしたらもつと来たかも知れませんが、会員の人の住所が解りませんでした。

それで本題に入りますと。

わたくしも六月に会員講演をやりまし

た。そのときは「七つのミラクルワード」

と題してあたんですが、「佐藤先生」と書

いてあつたんです。これは、学生たちに

## イメージを本の表紙に持つ

それで本題に入りますと。

わたくしも六月に会員講演をやりまし

た。

そのときは「七つのミラクルワード」

と題してあたんですが、「佐藤先生」と書

いてあつたんです。これは、学生たちに

たのは、まず、学求的雰囲気ですね。なんかこう、学校にいるような雰囲気で(笑)い)。向こうはこうですからね。(と人を抱く格好をする)やあ、佐藤さん。女の

人みんなこうやつてますからね(笑)い)。

そんなんで、違うなーと。それからあと、非常に会員の人人がまじめだというんですか、なんか中途半端な人がいないという

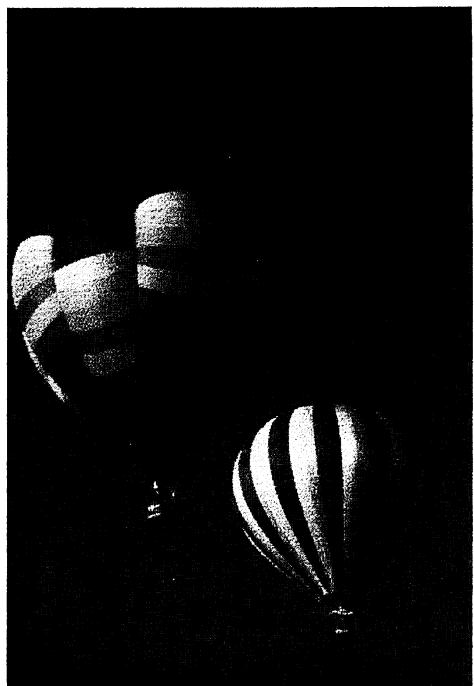
ような気がしまして。それで、私も本を

全部読みました。例によつて線を引いて

おいて人に言つんじやないという話で

したね。

そんなわけで、私がGAPに来て思つ



みなさんにも、そういう呼吸法と大宇宙思念法をやつていただきました。そのあと 目をつぶつて、目の前のスクリーンに、私の本が「よく 売れる。よく 売れる。」と祈つてもらつた んです。そのあと本が出た わけです。本がでたのは「一〇月。それからすぐ売り切れ、初版本が四千冊だつたんですが、すぐ増刷となり、増刷を続けて今は六刷目です。それで、皆さんの想念が私の本を売つてくれたんではないかと思つてます。

それで、その文句がこの下に書いてあります、「人のため、人のため」が「自分のため、自分のため」、これでは全然か られないですね。また「世の中のため、人のため」ばかりやつてあるだけでは、学生たちに配つたんです。それをいつも枕元で聞くわけです。それで、いつのま にか寝ちゃう。

私の本の出し方といいますか、出版の進め方ですが、私はまず、イメージを本の表紙にもつわけです。私は昔、ドイツへ行つて、それからジャズ体操、ジャズという名前を広めたんです。そのときにから「世のため、人のため」、最後にちょっとだけ自分のために帰つてくるようなり、これは頼いやすい。そう思いまして、わたしは最後に「ちょっとと自分のため」ということでやつています。

じやあほんとに、この間から良いことがあつたかと言いますと、あの時に確か、

これが、ブライズ社というところから出たんですね。その後、これは持ち歩くにはちよつとでかいなと思った。じやあ、今度はもっと小さい本をとイメージを描いた。これくらいの版でこういう絵があつてという具合に。それで出たのが「チャンネル入門」。これでなんとかなつたらみんな飛び上がつたんですけど。一番うれしいのがこれなんです。これは、カーリー・シャーベットという、私がドイツにいたときに師事したダンスの先生なんです。この先生から聞いたのは、日本人では私だけなんです。まあ、うちのかみさんもそうですけど。そういう翻訳書を出したい。そう思つて出版社に行つたんです。だけど出版社が言うには、これは古くて売れない。でも、出したい出したいと思うから、こうイメージをするわけです。

そうして一～二年くらいたつた時に、そのカーリー・シャーベットという先生から日本に遊びにきたいという手紙があつた。わたしは何で日本に来たいんだと行つたら、あなたがいるから遊びに来たい、ということでした。そのとき、このジャパンがブームになつていましたから、全国にダンスの教室があつた。それで私は、そこに来て講習会をしてもらえたな ら、講習会も旅費も全部面倒をみましょ うという話をしました。それで、それに はテキストがいるということになりましたが、ちょうど私がいま出したばかりの本があると言いました。じやあ、それを会をやつて本を売つたんです。面白いで しょう。だからこの本が出来たんですが、古い本だからダメだと諦めていたら、そ ういうことはなかつたわけです。

そういうように、私の場合には先にで きた本をイメージするわけです。

この本の場合にはちょっとイメージが違つたんです。模様だけは「スポーツ整 体、家庭整体」。キャッチフレーズは、木 下先生を治さなければならぬのに、今までの療法は精神まで治せないじゃないか。オーラはこう治す、手で治す、薬は いらない。というキャッチフレーズでした。それで、私のイメージとしては、私 の手があつて地球があつて、私がこうやつて治していくイメージだつたんです。

そうすると、それはちょっと宗教的だからということで、修正されました。

## ミラクルワードで願いが叶う

それで今度は、これだけではだめだと いうことで、「手当てとテープ」。切り塩 テープという筋肉に補助をするテープが あるんです。それで手当てを終わつてか

その二つをやつていれば絶対に大丈夫な  
んじやないかということです。それで、  
毎日「手当てとテープ」「手当てとテープ」  
と（ミラクルワード）やつていた。そ

うすると一昨日ですか、正美堂出版とい

う出版社から電話がありまして、今度、

本をだしてくれないかという。そういう

わけで、今度はがんばって原稿を書かな  
きやいけない。

この後は、息子と妻の効果とあります。  
うちの息子はテニスのキチガイで、中  
学二年になるまで全然勉強しなかった。  
中学校三年生からやり始めたんですよ。  
それで手遅れっちゃうのかな。どこどこ

の都立高校を受けたい」と、担任が

ダメだと言うんですよ。おまえは平均点

が七〇点以上取らなければ入れない試験

なんだ。というのは内申書が悪いですか  
ら。まあ受けて見るといわれて、受けた  
ら受かつてしまつたんです。最近は受験  
生が少なくなつてきてますから、生徒  
が足らないから受かつたのかもしれません  
が、そういうことがある。

「わたしは一番乗り。創造主により、  
私の人生にもつと沢山の良いことがもた  
らされている。」これはマニオン・ドラッ  
グという本から取つたんです。これが全  
部お金なんです。金の用意がなければ幸  
せになれない。こういう本なんですね。こ  
の中に「わたしの人生にもつと沢山のお  
金がもたらされる」。こうなつているんで  
す。わたしはお金だけが人生じゃないと  
思つてますが、人生にもつと沢山のお

金がもたらされる。これによつて、わた  
しの子供も、たぶんよいことがあつたん  
じやないかと信じているんです。

うちのかみさんは、今までジャズの本  
を出版していました。今度は、ジャズでは  
なく自然の氣功法や治病法を取り入れた  
自然の動きという自然運動というのを広  
めていました。ところが、それを出版で  
いきやすくなつたんです。この間の話で  
いしていると、必ず出るようになつてい  
るんじやないか。

それから一ヶ月前にな、私は自転車を  
盗まれたんですよ。土曜日に自転車で行  
つて、帰えるときに盗まれたんです。市  
営の一時預かり所にちゃんと預けておい  
たんですが、帰つてきたら無いんですよ。  
それで、自転車がでてくるように祈つて  
いました。すると、昨日です。葉書がき  
まして、自転車が見つかりましたとある。  
正美堂から電話はくるわ、無くなつた自  
転車が出るわということで、非常によか  
つたなと思つています。

それで、総会の時に秋山先生が言つて  
いましたが、どうも人間は無いものねだ  
りをする。いやあ、他の星に行きたい、  
行きたい。秋山先生みたいに行きたい、  
行きたいと無い物ねだりをする。地球上  
類には、逆にテレパシーはないかもしれ  
ないが、言葉という便利なものがあると、  
こう言われたんだですよね。それは、わた

しほこのミラクルワードと密接な関係が  
あると思うんです。一度口に出してしま  
えば、「度目は楽だ。『私は愛してる』と

二回目に言つるのはそれほど勇気がいるが、  
非常に愛している」と言いやすいわけで  
す。そういうわけで、逆に言えば言葉と

いうものを使う。それから誰もいない時

に自分で「わたしは幸せになりたい。健

康になりたい。健康になりたい。」という

ような言葉を口にだして言うと、人体の

60兆の細胞はそれを実際に叶えてくれ

る。そういうわけで「言葉」というのは

非常に大事なんぢやないかと思ひます。

それで、前回私がしゃべつたことや今  
回しゃべつたことを、もし幹部の方、暇  
でしたら文書にしていただき、そうし

たら私はいつの日か本にして、勝らまし

て出したいなと思つてます。なぜなら、

私はこれほどミラクルワードのお陰で願

いが叶つてゐるということです。  
あと十分ほどしゃべらせていただきま  
す。

## 日本から必ず真実が現れる

「自由というのは世紀末」ということ  
で書いてあります。

E問題、それからアダムスキーリーの主張、  
宇宙哲学、これらが日本の誰かによつて、  
あるいは私たちがもしれないが、必ずや  
世界中に広がる。それが私は「日の出」

と思つてゐるんです。なぜかといふと、

日本というのは非常に自由があります。

久保田先生が一〇冊バーツと本を出して

も、誰も文句は付けないわけです。その

面では宇宙哲学が明らかにされやすい。

本の出版とか言論の自由があります。

ういう国はなかなかない。そういう意味

で、日本こそは選ばれた民族と國なんじ

やないかと思つてます。

それからもうひとつは、ピーピーでは

ダメなんです。経済的に豊かである、と

いうことで、いろんなことができる。い

ろんな仕事ができる。普及活動ができる。

それからひよつとしたら我々みんなで、

お金を集めて、あるいは金持ちに談判し

て、通信衛星を打ち上げて、いやー、火星に人がいた、金星にも人がいた。これをやればいいわけですよ。ですから私は、日本から必ず真実が現れると信じています。

## UFO出現の意味

この間は、アメリカで久保田先生が講演をされました。その時のUFOの意味を私なりに考えてみたわけです。なぜ、母船からスカウトシップが出たのを目撃されたかというと、一つは理論的に言えばひとつ前の原点、つまりそれからある活動が生まれたという象徴。そういう影響がUFOとしてワシントンにでた。二番目に、その活動がわづと広がった。それを象徴しているんじゃないかな。三度目に、数機のUFOが連続してでた。それは別の場所でたわけです。そうすると、それは全国に広まつたということを象徴しているんではないかと思うんです。最後にまた母船がでたというわけですが、その締めくくりに。ということは、そういう原点、アダムスキーフilosophyをもう一度見直せと言つているのかもしれない。

それから人との係わりでいうと、まず母船からということは、アダムスキーフilosophyが一つのUFO問題を投げかけたということで、それから二番目のUFOブームができた。そして各国にGAP活動ができだ。それからひょっとして、第二のアダム運動をしたり、ぱつと消えたり、逆さ

ムスキーフが現れるかもしれない。

それで日本では、久保田先生がそういう形でUFO問題を投げかけた。それでUFO活動があつて、ほんとに専門的に普及する資料がどんどんできました。最後にGAP会員。これは言われているかもしれないが、会員の子供。例えば加藤さんの子供なんかは、今なぜ生まれたかといふ意味で生まれたのかもしれません。

聖書には「見えないものを信じる者は幸いである。そのものは天国に入るだろう。」久保田先生は、一度もアダムスキーフilosophyに会つていればいいんですが、会つていなっています。会つていなくても、その著書を四〇年間も信じて普及活動をしていました。これはまさしく天国の門に入る人だと思っています。ですから、そういう人と我々は勉強をして生きるのは非常にうれしい。

それから、飛行機型UFOの問題。あと、我々会員各々が、今からどのようになればよいかというと、自分の職場、自分の関係の中で広げてゆくしかないと思うわけです。わたしは回りには信じる人もいれば、わははと笑うやつもいる。しかし私は先生なんんで、学生達は単位を取るために、必ず講義を聴きに来ます。そうすると一時間は必ずUFOと宇宙生物学の講義をやっています。そういう形で、今年も久保田先生を造形大学へお呼びします。これは私がお呼びするというよりも回りの環境ですね。わたしが、保険体

まにきりもみ運動をしたら、大衆はパニックになるんじやないかと思うんです。

アメリカはロシアのやつがすごい秘密兵器を造つてあるんじやないか。そういう疑惑が押されるんじやないか。そういう疑惑活動が、ほんとに専門的に普及する資料がどんどんできました。最後にGAP会員。これは言われているかもしれないが、会員の子供。例えば加藤さんの子供なんかは、今なぜ生まれたかといふ意味で生まれたのかもしれません。

聖書には「見えないものを信じる者は幸いである。そのものは天国に入るだろう。」久保田先生は、一度もアダムスキーフilosophyに会つていればいいんですが、会つていなっています。会つていなくても、その著書を四〇年間も信じて普及活動をしていました。これはまさしく天国の門に入る人だと思っています。ですから、そういう人と我々は勉強をして生きるのは非常にうれしい。

## 久保田先生を造形大学へお呼びする

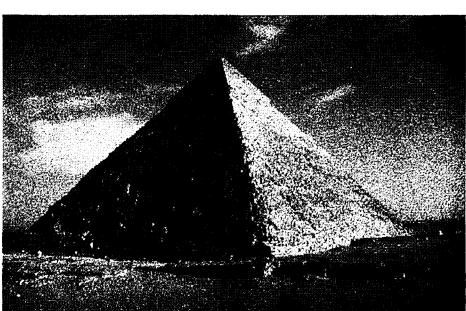
あと、我々会員各々が、今からどのようになればよいかというと、自分の職場、自分の関係の中で広げてゆくしかないと思うわけです。わたしは回りには信じる人もいれば、わははと笑うやつもいる。しかし私は先生なんんで、学生達は単位を取るために、必ず講義を聴きに来ます。そうすると一時間は必ずUFOと宇宙生物学の講義をやっています。そういう形で、今年も久保田先生を造形大学へお呼びします。これは私がお呼びするというよりも回りの環境ですね。わたしは、保険体

ちらには一七〇人の生徒がいるんですが、わたしの方は二七〇人いる。前期は遠藤先生をお呼びしたんですが、こんどはそちらと一緒にきりもみ運動をしたら、大衆はパニ

ックになるんじやないかと思うんです。わたしの方は二七〇人いる。前期は遠藤先生をお呼びしたんですが、こんどはそちらと一緒にきりもみ運動をしたら、大衆はパニックになるんじやないかと思うんです。わたしの方は二七〇人いる。前期は遠藤先生をお呼びしたんですが、こんどはそちらと一緒にきりもみ運動をしたら、大衆はパニ

ックになるんじやないかと思うんです。わたしの方は二七〇人いる。前期は遠藤先生をお呼びしたんですが、こんどはそちらと一緒にきりもみ運動をしたら、大衆はパニ

ックになるんじやないかと思うんです。わたしの方は二七〇人いる。前期は遠藤先生をお呼びしたんですが、こんどはそちらと一緒にきりもみ運動をしたら、大衆はパニ





# 意識の声

久保田八郎

他人を助けるような生き方

人間誰しもより以上に充実した豊かな人生を過ごしたいという欲求はあります。現実は必ずしも理想通りにゆかず、様々の人間模様を織り成しながら泣き笑

いの生活を送っています。テレビのドラマを見れば一目瞭然。怒鳴つたりわめいたり、泣いたり笑つたり、なんのことはない、感情の波に流されながら生きているだけのことで、やがて老衰してこの世を去つて行きます。こんな人生を過ごしたくない、という観点からもっと宇宙的な真の人間としての主体性を確立して、生き甲斐のある生涯を過ごしたいというのが大半のGAP会員の方々の態度であろうと思います。

一体、どうすればよいか。解答はただ

一つ。「他人を助けるような生き方をすること」これに尽きます。そうすれば自分が他人から助けられるのです。これはイエスが説いた千古不滅の法則ですが、欲望の塊と化した現代人にはマルヒエン(童話)以外の何ものでもないでしょう。私はときどきカルカ伝の第六章を繰り返し読みますが、「英文版の新約で読むのですが、特に二七節のLove your enemies(あなたの敵を愛しなさい)から三一節のDo for others just what you want them to do for you(他人にしてもらいたいと思うことを他人にもしてあげなさい)」という箇所に至るまでを重視しており、これを電車の中などで反復熟読しています。

しかし単なる読書だけがいかにむなしを他人にもしてあげなさい」という箇所に至るまでを重視しており、これを電車の中などで反復熟読しています。

私はこの二つの認識に到達したような気がします。それは「人間はマインドと意識との複合体である」というア氏の理論からして、「この現象界はマインドと意識界との複合世界であり、それ以外にならない」という自覚です。意識界というものはテレパシー界の別名でもあります。万物から発せられる波動が互いに交信しあっている世界が意識界です。

しかし一般地球人は四つの感覚器官で形成されるマインド(心)だけで生きていますから、いわば「マインド界」だけを知覚しながら生きているのですが、実はその底に「意識界」が存在しているのに、それに気づかずに生きていくといえます。これをたとえれば、川の表面はさざ波がち騒いでいますけれども、水面下では

ほどの実践力を持つ人をスペース・スピードが無視するはずではなく、河岸へ渡そうと苦闘する本人を援助するでしょう。これを「天は自ら助くる者を助く」と言います。

アリス・ポマロイ女史から聞いた話によると、アダムスキーが口癖のように言っていた言葉の一つとして「他人を助けるような生き方をするべきだ」というのがあります。もはやこれはイエスと異なるものではありません。

## 意識界への移住

私はこの二つの認識に到達したようになります。そのようなフイーリングを絶えず起こすように不斷的努力を続けてゆくならば、自動車の運転練習と同じようには、次第にフイーリングが高揚してテレパシックになつてくることは間違いありません。これは私の体験から言えること

です。

「無数の想念波動が交信しあつて、そして原子群が語り合つて、不可視の意識界への移住！」これがテレパシー開発の究極の目標にもなるものでしよう。

このようにみると、地球人全体がいかに四官だけで現象界にとらわれて泣き笑いの人生を過ごしているかがわかります。地獄というのはまるで人が商品のレイベルだけみて価値観や基準を設定しているような世界です。内部にどのような

素晴らしい品物が包まれているかが全く分からずに品定めをしているようなものだと言えるでしょう。

(意識の声 No.1-2)

## 悪魔は私たちを誘惑しない

九月のアメリカ行き以来、いろいろな行事や仕事で過労が続いたせいか、私は少し体調を崩しまして、一月中旬の五、六日間は寝たり起きたりの生活を過ごしていました。今はすっかり回復して毎日元気よく仕事を続けています。つくづく思いますのは、自己抑制の重要さです。いかに強烈な信念があつても人間の体力には限界がありますがら、それをわきまえて抑制する事が大切であることを痛感するこのごろです。つきあいの時にアルコールを飲むのも、やはり抑制がものをいいます。一九世紀イギリスの有名な作家ジョージ・エリオットは「悪魔は私たちを誘惑しない。私たちが悪魔を誘惑するのだ」と言っています。この人は本名をメリーランド・エヴァンズという女性なのですが、信仰に逆らい、恋愛に傷ついた結果、自分自身の内面を厳しく見つめて一種の悟りの境地に達したのです。自分自身の心に誘惑を受け入れる要素があるから、誘惑されたような気がするんだという彼女の境地は、精神的な発達度の高い東洋人の目から見れば、たいしたレベルではないように見えますが、現在、

物質文明に毒された日本人にもあってはまる名言といえるでしょう。

アダムスキー問題にしてもそうです。やたらにアダムスキーの名やUFO写真をまき散らしたりすればよいというものではなく、一般社会の反応を敏感に察知しながら節度を持つて適当に抑制しながら活動を続けるというのが、結局長く持続させる賢明な方法であるといえるでしょう。それにしても、先般九月にアメリカで知ったのですが、アメリカ人のほとんどはアダムスキーの名を知つてはいません。それどころか、アダムスキーの名を知つている少数の人でさえも、彼を世纪のペテン師だったと認識しているほどらしいです。驚いた話ですね。これはアメリカにコンピューターによってUFO写真の真意を科学的に判定するという団体があつて、アダムスキー撮影のUFO写真のすべてを、いとで模型を吊り下げて撮影した二セモノだと発表したために、「科学」という言葉に弱いアメリカ人がひとたまりもなくインチキだと信じ込まれた結果であるとも言えるようです。

つまり彼ら一般大衆は悪魔を自ら呼び寄せたわけです。というわけは一般人の中にはアダムスキーの言説を信じたくない要素がひそんでいるからでしょう。こうなっているので、私はアダムスキーに会つたことがないのに、世界の五四億の人間の中で、ほとんど私が今までアダムスキーの宇宙哲学を伝える活動を続行してきたという事実です。これは我ながら一種不思議なことです。アダムスキー存命の頃は世界中の十数カ国にGAPの団体がありましたが、ナーニー、私にはそんな感傷はありません。やつたれ、やつたれ、と内部の衝動は依然として自称マッショル人間を駆

動しますが、しかし節度と抑制の重要性に七一歳のこの頃やつと気づいた私は馬車ウマのようには、やりません。むしろ悪魔を呼び込まないよう自制と、意識からの印象に従いながら前進を続けるだけです。

(意識の声 No.6-5)

## 知識と求道のはざま

五月の東京月例セミナーで質問がありました。それは「私達はアダムスキーの本だけ読んでいればよいか、という内容でした。私が言下に答えるのは「アダムスキーの本だけ読んでいればよい」というものではない。各種の本を読んで世の中を知るべきだ」です。一方、私は万巻の書物を読んできましたが、さほどの知識はありません。せつからく本を読んで内容を忘れたら元から知らなかつたと同じで「無知」の状態になるのです。記憶が非常に重要ななります。

しかし私には一つの事実があります。それは私がアダムスキーに会つたことがないのに、世界の五四億の人間の中で、ほとんど私が今までアダムスキー

ンマークだけです。デンマークGAPはかなり以前から英文版機関誌の発行を廃止し、デンマーク語版機関誌だけを年に一度出しているだけで、アダムスキーが続行しているという不思議な事実が存在するのです。これは誇張ではなく客観的事実です。

最近私はパウロに関する研究書を熟読しました。彼はイエスに会つことはなく、それどころか最初はユダヤ教パリサイ派の極右として、イエスの信奉者を迫害していたのですが、ダマスクスへ逃げたイエスの信者達を殺しに行く途中、空中に不思議な雲がでてきて、そこから大きな声が響いてくるのを聞きます。「サウロよ、私はイエスだなぜおまえは私を苦しめるのか」と(サウロはヘブライ語名です)。これを聞いたパウロは全身を打ちのめされて一八〇度の変身を遂げます。

そして一二弟子の誰より猛烈な意欲にかられてイエスの愛の哲学の伝道の旅を続けたあげく、最後はローマで捕えられて処刑されます。このパウロの功績によつてヨーロッパにキリスト教が伝播したのです。

小アジアのエフエソス出身のパウロは、若き日にエルサレムに留学して学んだ高度なユダヤ教義によつて反イエス的になりましたが、元は一二弟子達と同様にイエスを援助するために別な惑星から転生してきたと思われるフシがあります。そ

の過去性を知っていたスペース・スピー・ブル

の示唆によって、空中のスカウト・シップからイエスがパウロに呼びかけたのではないかと思ひをめぐらすこの頃です。

私はなにもパウロ気取りでいるわけではありません。聖パウロの足下どころか

はあります。聖パウロの足下どころか

数キロメートル近くも寄れない卑小な人間ですが、ただ深淵幽玄な謎そのもので

ある人間の「宿命」というものに肅然たらざるを得ない心境になるのです。そし

てここで大悟させられるのは、現在の見かけはどのようであれ、人間個々の宿命は肅然たる法則にしたがつて左右されており、それによつて人生を歩んでいると

いう事実です。したがつて、あらゆる人間の人生行路はすべて過去性からの宿命であり、それはより以上高次元化の方向に向かおうとするベクターに沿つている

ということです。こうなれば人間の今生の姿は一種の仮装行列ですが、それはただのドラマではなくて一つの「現実の歩み」を重ねながら人間は悠久の彼方へ昇華してゆくものと思われます。

(意識の声 No.72)

美しく楽しい人生を過ごす方法

美しく楽しい人生。それは物質的な豊かさではなくて、あらゆる人から好かれることになることを意味するでしょう。どうすれば人から好かれるか。簡単なこ

とです。こちらから人を好いてあげる

です。そうすれば見返りに好かれます。しかしあらゆる人を好きになるというの

は難事です。どうすればよいか。秘訣をお教えしましょう。

「自分にとつてイヤーな人間を好きになる方法」、それは「あの人人は人生とい

う舞台で、いつときあのような役を演じている役者なのだ」と思うのです。な

んだ、役者なのか、本体は違うんだ。本体は善良な人間なのだが、今

はわざと、あんなふうな悪役を演じているんだ、と思えば気分が晴れてスカーツとします。イッパイ飲みた

くなりますよ。こうした発想の転換によつて人間は自分の人生を無限に楽しくすることができます。

役者というのは事実です。人間は一つの舞台で（一生涯で）人生といふ仮面劇を終えると転生して、また

別な舞台で（生涯で）人生を演じます。だから役者なのです。名優もおれば大根役者もいますが、転生を練り返すごとに次第に技術が向上して、縁日の小屋掛けの芝居から、ブロードウェーの大劇場の出演者に出世してゆきます。それなのに人生を一回限りと思つて自暴自棄になるのは、つまらない話です。とにかく地球世界の五六億の人間が一刻も早く

（意識の声 No.72）

水上温泉ホテルオーモリ 横浜支部移動月例セミナー 参加メンバー



## 編集後記

◆今回の支部報は二年ぶりの発行となります。かねてから温かいご支援をいただ

きながら発行が遅れましたこと申し訳なく思います。しかもGAP総会間近に控えて急ぎ仕上げました。そのため完成品としては十分な出来とはいえなく、これからは準備よく完成して参りたいと思うところです。今後ともよろしくお願ひいたします。

◆「調和のとれた活動のために」は杉山氏が日頃から内部から印象を受けた内容をメモして体系化したものです。すごい素晴らしいと編者は感じるのですが、みなさまはどのような感想を持たれるでしょうか。

◆横浜支部では知らせる運動の一環として、インターネット上にホームページを開設しました。各種検索等でご確認ください。

日本GAP横浜支部報  
ONENESS 四号  
編集発行人 清水 正  
発行所 日本GAP横浜支部  
〒174 東京都板橋区南常盤台  
二一一三一一二一四〇一  
Tel. ○三一五九九五一一六〇三八  
E-mail oneness@blue.pjala.or.jp  
一九九七年九月一四日発行